

教科〔社会〕種目〔地理的分野〕

令和3年度から使用する中学校用教科用図書調査・研究報告書

- 1 教科 [社会] 種 目 [地理的分野]
- 2 本市の実態や生徒の状況

<p>○ 本市は、官公庁や商業施設が集まる地域、工業・農業・漁業が行われている地域、宅地造成により住宅地が広がる地域、豊かな自然の残る地域など、それぞれに異なる特色をもつ地域が分散している。また、近年では都市再開発、高速道路の整備、自然災害等、状況が大きく変容していることなど、こうした地域の実態や課題を調べる学習に適した地域である。</p> <p>○ 本市の生徒は、地理的事象や、調査などの作業的な学習活動に対する興味・関心は高く、情報を収集する技能は身に付いているが、地図や諸資料を有効に活用して事象を説明したり、自分の解釈を加えて論述したり、意見交換したりする力に課題がある。</p>	
---	--

3 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
<基礎・基本の定着>	① 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 ② 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
<主体的に学習に取り組む工夫>	③ 興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返り返って次につなげたりするための工夫 ④ 問題解決的な学習を実施するための工夫
<内容の構成・配列・分量>	⑤ 単元・題材や資料等の配列・分量 ⑥ 発展的な学習に関する内容の記述の状況
<内容の表現・表記>	⑦ 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方 ⑧ 他教科や他分野、日常生活等との関連の示し方
<言語活動の充実>	⑨ 様々な資料を有効に活用し、考察したり、論述したり、意見交換したりするための学習活動の工夫

令和3年度から使用する中学校用教科用図書調査・研究報告書

1 教科 [社会] 種 目 [地理的分野]
 2 調査・研究の観点及び教科書の特徴

観点	視 点	発 行 者	帝 国 書 院	日 本 文 教 出 版
<p>① 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫</p> <p>② 国際社会で主体的に生きていくための基礎となる知識・技能を身に付けさせる工夫</p>	<p>東京書籍</p> <p>○ 小項目「日本の地域構成」の「日本の領域の特色」では、「主たる領海・非領海の経済水域と領土の面積」を掲載し、日本と他国の領土を比較している。また、コラム「地理にアクセス」で、新しく広がった国土として、東京都の西之島の写真を掲載し、沖ノ島の写真を掲載している。</p> <p>○ みんなでチャレンジを設け、「国土面積と比較しましたよ」、「周辺の島々が領土であることの意味について、グループで話し合いましたよ」という学習課題を掲載している。</p> <p>○ 領域をめぐむ問題については、本文2ページにわたり、「北方領土」、「竹島」、「尖閣諸島」の問題に、テーマを付して1つずつ示している。</p> <p>○ 中項目「日本の諸地域」の中で、「地域の伝統や歴史的背景」を踏まえた視点として、「東北地方」では、「祭りや年中行事の伝統とその変化」、「伝統工芸品の生産・販売とその変化」、「過去の継承と未来に向けた社会づくり」などの学習内容を設けている。</p> <p>○ 中項目「世界各地の人々の生活と環境」で、6気帯（寒帯・冷帯で4ページ）の人々の生活、気候、宗教、暮らしの変化について説明している。なお、6地域を学習した後、各気帯の特徴をまとめる構成となっている。</p> <p>○ 「国際理解」について、小項目「アフリカ州」で、アフリカを支援するための日本の活動として、「日本の伝統的な工法で造られる上総掘りの井戸」、「アフリカの学校で理科を教える日本人」、「青年海外協力隊の活動」（計3点）を掲載している。</p> <p>○ 中項目「世界の諸地域」の、各小項目の最後に「基礎・基本のまとめ」を設け、各州で学習した基礎的な知識の確認等を行い、「まとめの活動」では、各州で着目した「地球的課題」を、探究のステップで例に挙げた資料を参考にしながら、振り返る学習活動を設定している。</p> <p>○ 特設ページ「資料から発見」を設け、資料を読み取る力や、考える力、説明する力などの、地理的な技能を身に付けさせる学習活動を設定している。</p> <p>○ コラム「スキルアップ」を設け、雨温図の読み取り方や、地形図の読み取り方などの技能を身に付けさせる学習課題を掲載している。</p>	<p>教育出版</p> <p>○ 小項目「日本の地域構成」の「日本の国土の広がり」では、「国々の領土と非領海の経済水域の面積」を掲載し、日本と他国の領土を比較している。また、「面積が拡大した西之島」の写真を掲載し、コラム「地理の窓」で沖ノ島を掲載している。</p> <p>○ 「読み解こう」を設け、「島国としての日本の特徴をまとめよう」、「沖ノ島島が属する都道府県はどこか、調べよう」という学習課題を掲載している。</p> <p>○ 領域をめぐむ問題については、本文2ページにわたり「北方領土」、「竹島」、「尖閣諸島」の問題をとあげている。また、「北方領土」に関する歴史的背景の年表を掲載している。</p> <p>○ 中項目「日本の諸地域」の中で、「地域や伝統や歴史的背景」を踏まえた視点として、「東北地方」では、「歴史に育まれた地域」、「京都の街並みと伝統文化」、「都市の成り立ちと広がり」などの学習内容を設けている。</p> <p>○ 中項目「世界各地の人々の生活と環境」で、6気帯（寒帯・冷帯で2ページ）の人々の生活、気候、宗教、民族、言語について説明している。なお、各気帯の特徴を学習した後、6地域を学習する構成となっている。</p> <p>○ 「国際理解」について、小項目「アフリカ州」で、アフリカを支援するための日本の活動として、「電柱を設置する現地の労働者と日本人の技師」（計1点）を掲載している。</p> <p>○ 中項目「世界の諸地域」の、各小項目の最後に「学習のまとめと表現」を設け、各州で学習した基礎的な知識を確認するなどの、学習活動を設定している。</p> <p>○ コラム「地理の技」を設け、日本の略地図の描き方や、新旧の地形図を比較するなどの、地理的な技能を身に付けさせる学習課題を掲載している。</p>	<p>帝国書院</p> <p>○ 小項目「日本の地域構成」の「日本の領域とその特色」では、「主たる領海・非領海の経済水域の面積」を掲載し、日本と他国の領土を比較している。また、「活発な噴火を続ける西之島」の写真を掲載し、コラム「活発な噴火を続ける西之島」で沖ノ島を掲載している。</p> <p>○ 「やってみよう」を設け、地図帳を使って日本の東西南北の端の島名を調べたり、属している都道府県を調べたりする学習課題を掲載している。</p> <p>○ 領域をめぐむ問題については、本文2ページにわたり、「北方領土」、「竹島」、「尖閣諸島」の問題を、コラムを設け、掲載している。また、「北方領土」に関する国境の推移の地図を掲載している。</p> <p>○ 中項目「日本の諸地域」の中で、「地域や伝統や歴史的背景」を踏まえた視点として、「東北地方」では、「伝統行事と生活・文化の変化」、「稲作と畑作に対する人々の工夫や努力」、「工業の発展と人々の生活の変化」などの学習内容を設けている。</p> <p>○ 中項目「世界各地の人々の生活と環境」で、6気帯（寒帯・冷帯で2ページ）の人々の生活、気候、宗教、生活の変化について説明している。なお、各気帯の特徴を学習した後、6地域を学習する構成となっている。</p> <p>○ 「国際理解」について、小項目「アフリカ州」で、アフリカを支援するための日本の活動として、「米リカ米の栽培指導をする日本の青年海外協力隊の技術者」（計1点）を掲載している。</p> <p>○ 中項目「世界の諸地域」の、各小項目の最後に「学習の振り返り」を設け、各州で学習した基礎的な知識の確認等を行い、ステップ1からステップ2を通して、州の特色を考えた課題を掲載し、ステップ3では、発展的な課題として、持続可能な社会に向けて考ええる学習活動を設定している。</p> <p>○ コラム「技能をみがく」を設け、時差の調べ方や、ルートマップの作り方などの技能を身に付けさせる学習課題を掲載している。</p>	<p>日本文教出版</p> <p>○ 小項目「日本の地域構成」の、「日本の領域の特色をまとめよう」では、「主たる領土・領海・非領海の経済水域を合わせた面積」を掲載し、日本と他国の領土を比較している。また、コラム「地理+α」で沖ノ島を掲載している。</p> <p>○ 「トライ」を設け、地図帳を使って、日本の東西南北の端の島名を調べたり、東京との距離をはかる学習課題を掲載している。</p> <p>○ 領域をめぐむ問題については、本文2ページにわたり、「北方領土」、「竹島」、「尖閣諸島」の問題をとりあげている。また、「北方領土」に関する国境の推移の地図を掲載している。</p> <p>○ 中項目「日本の諸地域」の中で、「地域や伝統や歴史的背景」を踏まえた視点として、「近畿地方」では、「現在にいっきづく歴史的都市の特色」、「港町から世界へ」、「伝説を生かした産業と世界進出」などの学習内容を設けている。</p> <p>○ 中項目「世界各地の人々の生活と環境」で、6気帯（寒帯・冷帯で2ページ）の人々の生活、気候、宗教、言語について説明している。なお、各気帯の特徴を学習した後、6地域を学習する構成となっている。</p> <p>○ 「国際理解」について、小項目「アフリカ州」で、アフリカを支援するための日本の活動として、「アフリカで医療や衛生についての活動をする国際協力機構（JICA）の隊員」、「日本の企業の協力で建設されたアルミニウムの生産工場」（計2点）を掲載している。</p> <p>○ 中項目「世界の諸地域」の、各小項目の最後に「学習のまとめ」を設け、各州で学習した基礎的な知識の確認等を行うことができている。</p> <p>○ コラム「スキルアップ」を設け、地図の活用法や、写真の活用法などの技能を身に付けさせる学習課題を掲載している。</p>

観点	観点 2 主体的に学習に取り組む工夫	視点 ③ 興味関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫	東京書籍	教育出版	帝国書院	日本文教出版	
<p>③ 興味関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫</p>	<p>○ 小項目「中国・四国地方」の冒頭に、「瀬戸大橋」等の関連する写真を掲載している。また、キャラクターの吹き出しで「このように大きな橋ができたことで、暮らしはどのように変わったのだろうか。」と掲載し、写真との関連付けをしている。</p> <p>○ 小項目の課題を「探究課題」として、資料から読み取った情報をもとにして、「中国・四国地方では、なぜ交通・通信網が重要な役割を果たしているのだろうか」と示し、更に本文ページにも、「どのような」に「どのよう」等の学習課題を掲載している。</p> <p>○ 本文ページの「チェック」で、基礎的・基本的な内容を確認する活動を設けている。</p> <p>○ 中項目「日本の諸地域」の各小項目の最後に、「基礎・基本のまとめ」として、「〇〇地方をふり返ろう」を設け、各地方の特色等をまとめる学習を行うために、探究のステップを解決しながら振り返る学習活動を設けている。また、「まとめの活動」では、探究課題を踏まえて、より発展的な課題に取り組む学習活動を設けている。</p> <p>○ 振り返るための活動の工夫として、「みんなでチャレンジ」を設け、グループで話し合う学習課題を掲載している。</p> <p>○ 特設ページ「もっと地理」を設け、小項目で学習した内容を深め、身近な問題として捉えることのできる学習課題を掲載している。</p>	<p>○ 小項目「中国・四国地方」の冒頭に、「地城で予想される災害について学ぶ」、「水島コンビナート」等の関連する写真を掲載している。</p> <p>○ 小項目の課題を「学習の拠点」として、「人口集中や人口減少の観点から、中国・四国地方の特色を考えていこう」と示し、更に本文ページにも、「どのような」に「どのよう」等の学習課題を掲載している。</p> <p>○ 本文ページの「確認」で、この時間で学習したことを振り返って確認する活動を設けている。</p> <p>○ 中項目「日本の諸地域」の各小項目の最後に、「学習のまとめと表現」として、「ワードチェック」で語句の確認を行い、「地図を使って確かめよう」、「表現しよう」を設け、「意見を交換しよう」では、他者と意見を交換しながら振り返る学習活動を設けている。</p>	<p>○ 小項目「中国・四国地方」の冒頭に、「中国・四国地方の地図を掲載することにも、「鳥島神社」、「鳥取砂丘」等の関連するイラストを掲載している。また、「探してみよう」を設け、小学校で学習したことを振り返る学習活動を設けている。さらに、「写真で眺める中国・四国地方」を設け、関連する写真を掲載している。</p> <p>○ 小項目の課題を「節の問い」として、「中国・四国地方における交通網や通信網の整備は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか」と示し、さらに本文ページにも、「どのような」に「どのよう」等の学習課題を掲載している。</p> <p>○ 本文ページの「確認しよう」で、学習上大切な事項を確認する活動を設けている。</p> <p>○ 中項目「日本の諸地域」の各小項目の最後に、「節の学習を振り返ろう」として、「学んだことを確かめよう」で語句の確認などを行い、ステップ1からステップ2で「節の問い」について振り返る学習活動を設けている。また、ステップ3では、より発展的な課題に取り組む学習活動を設けている。</p>	<p>○ 特設ページ「現代日本の課題を考えよう」を設け、小項目で学習した内容を深め、身近な問題として捉えることのできる学習課題を掲載している。</p> <p>○ 中項目「地域調査の手法」で、14ページにわたり、問題解決的な学習を実施するための手立てを掲載し、問題解決的な学習を実施する流れとして、「野外観察をし、地域の情報を集める」、「調査テーマを決める」、「テーマごとに調べる」、「考察してまとめる」、「資料をつくる」、「調査結果を伝える」の順で掲載している。</p> <p>○ 問題解決的な学習に役立てるために、「地域調査の手引き」を設け、「調査計画書」をまとめる、「気をつけよう」と疑問を分類的に、「地形図の読み取り方」、「聞き取り調査」、「調査結果をまとめる」を掲載している。</p>	<p>○ 中項目「地域調査の手法」で、12ページにわたり、問題解決的な学習を実施するための手立てを掲載し、問題解決的な学習を実施する流れとして、「テーマを決める」、「調査方法を考える」、「野外調査をする」、「文献調査をする・まとめ」の順で掲載している。</p> <p>○ 問題解決的な学習に役立てるために、「技能をみがく」を設け、「ルーレットの作り方」、「地形図の使い方①〜②〜③〜④〜⑤〜⑥〜⑦〜⑧〜⑨〜⑩〜⑪〜⑫〜⑬〜⑭〜⑮〜⑯〜⑰〜⑱〜⑲〜⑳」等、新旧の地形図の比較、「地形図の使い方③〜④〜⑤〜⑥〜⑦〜⑧〜⑨〜⑩〜⑪〜⑫〜⑬〜⑭〜⑮〜⑯〜⑰〜⑱〜⑲〜⑳」等を掲載している。</p>	<p>○ 小項目「中国・四国地方」の冒頭に、「中国・四国地方の面積・人口・県内総生産を掲載することにも、「たいの養殖」、「瀬島神社」等の関連するイラストを掲載している。また、「クイズ」を設け、岡山市の人口に関する課題を掲載している。</p> <p>○ 小項目の課題を「人口や都市・村落をテーマに」とし、更に本文ページにも、「どのような」に「どのよう」等の学習課題を掲載している。</p> <p>○ 本文ページの「確認」で、見聞きの学習の理解を確かにするための活動を設けている。</p> <p>○ 中項目「日本の諸地域」の各小項目の最後に、「学習のまとめ」で、語句の確認などを行い、また「クイズ」を設け、学習内容を理解を深めながら、振り返る学習活動を設けている。</p>	<p>○ 特設ページ「自由研究」や「チャレンジ地理」を設け、小項目で学習した内容を深め、身近な問題として捉えることのできる学習課題を掲載している。</p> <p>○ 中項目「地域調査の手法」で、20ページにわたり、問題解決的な学習を実施するための手立てを掲載し、問題解決的な学習を実施する流れとして、「地域を見直す」、「調査を進める」、「調査結果をまとめる」、「調査結果を発表する」の順で掲載している。</p> <p>○ 問題解決的な学習に役立てるために、「スキルアップ」を設け、「地域の特色をつかむための五つの視点」、「地形図のしくみと約束を知る」、「デジタル地図にふれてみよう」、「地形図を身近な地域の調査に役立てよう」、「関連図のつくり方」等を掲載している。</p> <p>○ 見聞きページの学習課題に「見方・考え方」マークを付し、学習課題を解決するための手がかりを示している。</p>
<p>④ 問題解決的な学習を実施するための工夫</p>	<p>○ 中項目「地域調査の手法」で、16ページにわたり、問題解決的な学習を実施するための手立てを掲載し、問題解決的な学習を実施する流れとして、「情報を集める」、「調査テーマを決める」、「仮説を立てる」、「調査計画を立てる」、「調査する」、「考察してまとめる」、「発表する」の順で掲載している。</p> <p>○ 問題解決的な学習に役立てるために、「スキルアップ」を設け、「調査テーマを決めるヒント」、「身近な地域の情報の集め方」、「地形図の読み取り方」、「空中写真と比較した土地利用の読み取り」、「デジタル地図の使い方」等を掲載している。</p> <p>○ 世界の諸地域や日本の諸地域の学習で、「まとめの活動」を設け、「探究のステップ」で挙げた資料や学習した内容に関連する資料を取り上げながら問題を解決していく学習活動を設定している。</p> <p>○ 資料や学習課題に「見方・考え方」マークを付し、地理的な見方・考え方を活用して考察を深める活動を設定している。</p>	<p>○ 特設ページ「現代日本の課題を考えよう」を設け、小項目で学習した内容を深め、身近な問題として捉えることのできる学習課題を掲載している。</p> <p>○ 中項目「地域調査の手法」で、14ページにわたり、問題解決的な学習を実施するための手立てを掲載し、問題解決的な学習を実施する流れとして、「野外観察をし、地域の情報を集める」、「調査テーマを決める」、「テーマごとに調べる」、「考察してまとめる」、「資料をつくる」、「調査結果を伝える」の順で掲載している。</p> <p>○ 問題解決的な学習に役立てるために、「地域調査の手引き」を設け、「調査計画書」をまとめる、「気をつけよう」と疑問を分類的に、「地形図の読み取り方」、「聞き取り調査」、「調査結果をまとめる」を掲載している。</p>	<p>○ 小項目「中国・四国地方」の冒頭に、「中国・四国地方の地図を掲載することにも、「鳥島神社」、「鳥取砂丘」等の関連するイラストを掲載している。また、「探してみよう」を設け、小学校で学習したことを振り返る学習活動を設けている。さらに、「写真で眺める中国・四国地方」を設け、関連する写真を掲載している。</p> <p>○ 小項目の課題を「節の問い」として、「中国・四国地方における交通網や通信網の整備は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか」と示し、さらに本文ページにも、「どのような」に「どのよう」等の学習課題を掲載している。</p> <p>○ 本文ページの「確認しよう」で、学習上大切な事項を確認する活動を設けている。</p> <p>○ 中項目「日本の諸地域」の各小項目の最後に、「節の学習を振り返ろう」として、「学んだことを確かめよう」で語句の確認などを行い、ステップ1からステップ2で「節の問い」について振り返る学習活動を設けている。また、ステップ3では、より発展的な課題に取り組む学習活動を設けている。</p>	<p>○ 特設ページ「地域調査の手法」で、12ページにわたり、問題解決的な学習を実施するための手立てを掲載し、問題解決的な学習を実施する流れとして、「テーマを決める」、「調査方法を考える」、「野外調査をする」、「文献調査をする・まとめ」の順で掲載している。</p> <p>○ 問題解決的な学習に役立てるために、「技能をみがく」を設け、「ルーレットの作り方」、「地形図の使い方①〜②〜③〜④〜⑤〜⑥〜⑦〜⑧〜⑨〜⑩〜⑪〜⑫〜⑬〜⑭〜⑮〜⑯〜⑰〜⑱〜⑲〜⑳」等、新旧の地形図の比較、「地形図の使い方③〜④〜⑤〜⑥〜⑦〜⑧〜⑨〜⑩〜⑪〜⑫〜⑬〜⑭〜⑮〜⑯〜⑰〜⑱〜⑲〜⑳」等を掲載している。</p>	<p>○ 小項目「中国・四国地方」の冒頭に、「中国・四国地方の面積・人口・県内総生産を掲載することにも、「たいの養殖」、「瀬島神社」等の関連するイラストを掲載している。また、「クイズ」を設け、岡山市の人口に関する課題を掲載している。</p> <p>○ 小項目の課題を「人口や都市・村落をテーマに」とし、更に本文ページにも、「どのような」に「どのよう」等の学習課題を掲載している。</p> <p>○ 本文ページの「確認」で、見聞きの学習の理解を確かにするための活動を設けている。</p> <p>○ 中項目「日本の諸地域」の各小項目の最後に、「学習のまとめ」で、語句の確認などを行い、また「クイズ」を設け、学習内容を理解を深めながら、振り返る学習活動を設けている。</p>	<p>○ 特設ページ「自由研究」や「チャレンジ地理」を設け、小項目で学習した内容を深め、身近な問題として捉えることのできる学習課題を掲載している。</p> <p>○ 中項目「地域調査の手法」で、20ページにわたり、問題解決的な学習を実施するための手立てを掲載し、問題解決的な学習を実施する流れとして、「地域を見直す」、「調査を進める」、「調査結果をまとめる」、「調査結果を発表する」の順で掲載している。</p> <p>○ 問題解決的な学習に役立てるために、「スキルアップ」を設け、「地域の特色をつかむための五つの視点」、「地形図のしくみと約束を知る」、「デジタル地図にふれてみよう」、「地形図を身近な地域の調査に役立てよう」、「関連図のつくり方」等を掲載している。</p> <p>○ 見聞きページの学習課題に「見方・考え方」マークを付し、学習課題を解決するための手がかりを示している。</p>	

観点	発行者			
観点3	東京書籍	教育出版	帝国書院	日本文教出版
⑤ 単元・題材や資料等の配列・分量	<p>○ 地域的特色と地域区分の取り扱い方(教科書の掲載順)</p> <p>九州地方「自然環境」 中国・四国地方「交通・通信」 近畿地方「人口、都市・村落」 中部地方「産業」 関東地方「交通・通信」 東北地方「生活・文化」 北海道地方「自然環境」</p> <p>○ 総ページ数 302ページ</p> <p>第1編「世界と日本の姿」 27ページ 第2編「世界のさまざまな地域」 107ページ 第3編「日本のさまざまな地域」 142ページ</p> <p>索引等 20ページ 巻頭・巻末 6ページ</p> <p>○ 巻頭・巻末等の資料 (世界自然遺産、持続可能な社会に向けて、統計資料、用語解説、索引、世界の主な家畜・農産物)</p> <p>○ サイズAB判 重さ約586g</p> <p>○ 特設ページ「もつと地理」(15項目・全17ページ)を設け、学習した内容をさらに深めたり、広げたり、ちがう視点でとらえたりするための資料を掲載している。</p> <p>○ 本文ページの「トライ」では、「チェック」を確保したうえで、さらに深める学習課題を設けている。</p> <p>○ SDGs については、巻頭2ページにわたり、関連する写真を5点掲載している。</p> <p>○ 中項目「世界の諸地域」の各小項目冒頭で、「導入の活動」として、「SDGsから『地球的課題』を考えよう」を設けている。また、「まよめの活動」で、各州でとらえた地球的課題をSDGsと関連付けるようにしている。</p> <p>○ 大項目「地域の在り方」ではSDGsの観点から課題を解決する構成としている。</p>	<p>○ 地域的特色と地域区分の取り扱い方(教科書の掲載順)</p> <p>九州地方「自然環境」 中国・四国地方「人口、都市・村落」 近畿地方「歴史的背景」 中部地方「産業」 関東地方「交通・通信」 東北地方「生活・文化」 北海道地方「自然環境」</p> <p>○ 総ページ数 297ページ</p> <p>第1編「世界と日本の地域構成」 19ページ 第2編「世界のさまざまな地域」 101ページ 第3編「日本のさまざまな地域」 149ページ</p> <p>索引等 23ページ 巻頭・巻末 5ページ</p> <p>○ 巻頭・巻末等の資料 (世界遺産、統計資料、用語解説、索引、世界の主な家畜・農産物)</p> <p>○ サイズAB判 重さ約606g</p> <p>○ 特設ページ「地域から世界を考えよう」(6テーマ・全6ページ)、「現代日本の課題を考えよう」(7テーマ・全8ページ)を設け、現代の世界の話題及び現代の日本の話題から地理の学習を深めるための資料を掲載している。</p> <p>○ 本文ページの「表現」では、学習してきたことを活用してまとめたり、話し合ったりして、さらに深める学習活動を設けている。</p> <p>○ SDGs については、特設ページ「地理的な見方・考え方」で、「地球的課題とSDGs」を掲載している。</p> <p>○ 中項目「世界の諸地域」の各小項目冒頭で、「○で学習する地球的課題」を掲載している。また、「学習のまとめ」で、各州でとらえた地球的課題をSDGsと関連付けるようにしている。</p>	<p>○ 地域的特色と地域区分の取り扱い方(教科書の掲載順)</p> <p>九州地方「自然環境」 中国・四国地方「交通・通信」 近畿地方「環境保全」 中部地方「産業」 関東地方「人口、都市・村落」 東北地方「生活・文化」 北海道地方「自然環境」</p> <p>○ 総ページ数 310ページ</p> <p>第1部「世界と日本の地域構成」 24ページ 第2部「世界のさまざまな地域」 104ページ 第3部「日本のさまざまな地域」 155ページ 第4部「地域の在り方」 11ページ</p> <p>索引等 6ページ 巻頭・巻末 10ページ</p> <p>○ 巻頭・巻末等の資料 (SDGs、索引、世界の主な家畜・農産物、農産物)</p> <p>○ サイズAB判 重さ約610g</p> <p>○ 特設ページ「節の学習を振り返ろう」(17箇所)を設け、章や節の問いに対して、地理的な見方・考え方を働かせる言語活動に取り組みするための課題を掲載している。</p> <p>○ 本文ページの「説明しよう」では、本文を参考に説明するなどのさらに深める学習活動を設けている。</p> <p>○ SDGs については、巻頭2ページにわたり、関連する写真を8点掲載している。また、コラム「未来に向けて」を設け、SDGsに関連したテーマを扱っている。</p> <p>○ 中項目「世界の諸地域」の各小項目冒頭で、「注目の地球的課題」を掲載している。また、「節の学習を振り返ろう」で、各州でとらえた地球的課題をSDGsと関連付けるようにしている。</p> <p>○ 大項目「地域の在り方」ではSDGsの観点から課題を解決する構成としている。</p>	<p>○ 地域的特色と地域区分の取り扱い方(教科書の掲載順)</p> <p>九州地方「自然環境」 中国・四国地方「人口、都市・村落」 近畿地方「歴史的背景」 中部地方「産業」 関東地方「交通・通信」 東北地方「持続可能な社会づくり」 北海道地方「自然環境」</p> <p>○ 総ページ数 298ページ</p> <p>第1編「世界と日本の地域構成」 22ページ 第2編「世界のさまざまな地域」 95ページ 第3編「日本のさまざまな地域」 156ページ</p> <p>索引等 15ページ 巻頭・巻末 10ページ</p> <p>○ 巻頭・巻末等の資料 (統計資料、用語解説、索引、世界の主な畜産物・農産資源・農産物)</p> <p>○ サイズAB判 重さ約578g</p> <p>○ 特設ページ「チャレンジ地理」(4テーマ・全7ページ)、「地理+α」(16テーマ・全16ページ)、「自由研究」(13テーマ・全13ページ)を設け、学習の内容をより深めるための資料を掲載している。</p> <p>○ 本文ページの「深めよう」では、「見方・考え方」を働かせながら、さらに深める学習活動を設けている。</p> <p>○ 中項目「世界の諸地域」の各小項目冒頭で、地域的な特色を追究するためのテーマを示している。また、各州でとらえた地球的課題をSDGsと関連付けるようにしている。</p>
⑥ 発展的な学習に関する内容の記述の状況	<p>○ 本文ページの「トライ」では、「チェック」を確保したうえで、さらに深める学習課題を設けている。</p> <p>○ SDGs については、巻頭2ページにわたり、関連する写真を5点掲載している。</p> <p>○ 中項目「世界の諸地域」の各小項目冒頭で、「導入の活動」として、「SDGsから『地球的課題』を考えよう」を設けている。また、「まよめの活動」で、各州でとらえた地球的課題をSDGsと関連付けるようにしている。</p> <p>○ 大項目「地域の在り方」ではSDGsの観点から課題を解決する構成としている。</p>			

観点	観点4 内容の表現・表記	東京書籍	教育出版	帝国書院	日本文教出版
視 点	① 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインへの配慮として、文字はユニバーサルデザインフォントを使用し、黒色を抑えてあり、資料の掲載部分は支障のない地色を敷いて区別している。 ○ 中項目「中国・四国地方」に、広島に関連する資料として、「浜田駅と広島駅を結ぶ高速バス」「浜田駅から広島駅、松江駅までの所要時間」、「世界とつながる広島県」、「原爆ドーム」、「広島県の自動車工場」を掲載している。(計5点) ○ 34件のウェブコンテンツにアクセスできるようなQRコードを掲載している。また、対応する箇所には「Dマーク」を付している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインへの配慮として、文字はユニバーサルデザインフォントを使用し、資料等は職別しやすしい色を使っている。 ○ 中項目「中国・四国地方」に、広島に関連する資料として、「広島市を本拠地とするプロ野球チーム」、「太田川の三角州」、「通信使の名残」、「1898年ごろの広島市」、「広島市の人口・面積の変化」、「1950年ごろ、2012年ごろの広島市」、「原爆ドーム前を通る激爆した路面電車」、「全線開通から40年ほどで廃止された三江線」、「軽自動車による移動スーパード」を掲載している。(計9点) ○ 31件のウェブコンテンツにアクセスできるようなQRコードを掲載している。また、対応する箇所には「まなびリンク」を付している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインへの配慮として、文字はユニバーサルデザインフォントを使用し、資料等は職別しやすしい色を使っている。 ○ 中項目「中国・四国地方」に、広島に関連する資料として、「瀬戸内海と来島海峡大橋」、「瀬戸内しまなみ海道でサイクリングを楽しむ人々」、「世界遺産の厳島神社と宮島にある平清盛の像」、「瀬の浦と仙酔島」、「土砂災害のしくみを学ぶ小学生」、「世界とつながる平和記念都市、広島」、「平和記念式典とつながる「誓い」を読み上げる小学6年生」を掲載している。(計7点) ○ ウェブコンテンツにアクセスできるようなQRコードを49箇所掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインへの配慮として、文字はユニバーサルデザインフォントを使用し、資料等は職別しやすしい色を使っている。 ○ 中項目「中国・四国地方」に、広島に関連する資料として、「厳島神社」、「中国山地」、「瀬の浦」、「広島市のようす」、「平和記念都市・広島市」、「ヒロシマ・アークアイブ」、「島根県・広島県・高知県の高齢化率」、「中国自動車道沿いの市町村の工業製品出荷額」を掲載している。(計8点) ○ 41件のウェブコンテンツにアクセスできるような、QRコードを掲載している。また、対応する箇所には「デジタルマーク」を付している。
④ 他教科や他分野、日常生活等との関連の示し方		<ul style="list-style-type: none"> ○ 「教科関連マーク」を付し、他教科の学習との関連を示している。 ○ 「分野関連マーク」を付し、社会科の他分野との関連を示している。 ○ 「小学校の社会で習ったことば」を設け、小学校で学習した語句を掲載し、小学校の学習との関連を示している。 ○ 小項目「自然災害と防災・減災への取り組み」で、自然災害の種類、被災地への支援の方法、防災意識について説明している。また、特設ページ「震災から命を守る」を設け、震災から命を守る取り組みについて考える学習活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「関連コーナー」マークを付し、社会科の他分野との関連を示している。 ○ 特設ページ「小学校の社会科の学習を振り返ろう」を設け、小学校で学習した語句を掲載し、小学校の学習との関連を示している。 ○ 小項目「自然災害に向き合う」で、自然災害の種類を掲載し、また、小項目「災害から身を守るために」で、災害予測や災害への支援の方法について掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「小学校・歴史・公民との関連」マークを付し、社会科の他分野との関連を示している。 ○ 「小学校・歴史・公民との関連」マークを付し、小学校で学習した語句を掲載し、小学校の学習との関連を示している。 ○ 小項目「日本のさまざまな自然災害」で、自然災害の種類を掲載し、また、小項目「自然災害に対する備え」で、防災への工夫や災害への対応について掲載している。 ○ 「節の学習を振り返ろう」のページに「私たちとの関わり」を設け、日常生活と関連付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「連携コーナー」で、社会科の他分野との関連を示している。 ○ 「連携コーナー」で、小学校で学習した語句を掲載し、小学校の学習との関連を示している。 ○ 中項目「日本の地域的特色と地域区分」の小項目「災害にそなえるために」において、防災・減災のための取組を考える問いを設けている。

観点	視点	東京書籍	教育出版	帝国書院	日本文教出版
観点5 言語活動の充実	⑤ 様々な資料を有効に活用し、考察したり、論述したり、意見交換したりするための学習活動の工夫	<p>○ 資料を有効に活用するために、特設ページ「資料から発見」を設け、地域に特徴的な資料を取り上げ、読み取ったり考えたりすることで、資料を読み取る力を身に付ける学習活動を設定している。また、「スキルアップ」では、統計資料の使い方などの技能を身に付ける学習活動を設定している。</p> <p>○ 中項目「日本の諸地域」では、「なぜ」という発問により小単元を貫く「探究課題」を示し、見聞きごとに「探究課題」に沿った「学習課題」を設定している。また、「学習課題」のまとめとして、教科書の内容の「チェック」と、その情報をもとに理由を考察したり、自分の言葉で説明したりする「トライ」の二段階に分けた活動を設定している。</p> <p>○ 大項目「地域の在り方」では、持続可能な開発目標(SDGs)を冒頭に示し、「課題を見つけ」、「構想テーマを決める」、「情報を集める」、「要因を考察する」、「対策を考える」、「発表する」の順で掲載し、身近な地域の特色や課題を、SDGsに関連付けながら考察する学習活動を設定している。</p> <p>○ 「まとめの活動」を設け、「ウエビングマップ」、「クラゲチャート」、「ランキンング」などのシンキングツールを利用して、導入で示された「探究課題」について、考えたことを自分の言葉でまとめる学習活動を設定している。</p> <p>○ 「まとめの活動」の中に、「みんなでチャレンジ」を設け、グループで活動する課題や、論述したり、意見交換したりする学習活動を設定している。</p>	<p>○ 資料を有効に活用するために、コラム「地理の技」を設け、地図やグラフなどの図の方を学習する活動を設定し、特設ページ「地理にアプローチ」では、人口ピラミッドのつくり方などの技能を身に付ける学習活動を設定している。</p> <p>○ 中項目「日本の諸地域」では、「学習の根拠」を示し、見聞きごとに「学習の根拠」に沿った「学習課題」を設定している。また、「学習課題」のまとめとして、「確認」と「表現」の二段階に分けた活動を設定している。</p> <p>○ 大項目「地域の在り方」では、農村や都市の課題やニュータウンを例に示し、「地域の課題をとらえて(1)(2)」、「地域の課題を調べる」、「地域に向けて発信する」の順で掲載し、身近な地域を調査し、調査テーマを決定し、集めた資料をもとに考察する学習活動を設定している。</p> <p>○ 「学習のまとめと表現」を設け、「表現しよう」で思考を整理し、「意見を交換しよう」では、導入で示された「学習の視点」について、考えたことを自分の言葉でまとめる学習活動を設け、論述したり、意見交換したりする学習活動を設定している。</p>	<p>○ 資料を有効に活用するために、コラム「技能をみがく」を設け、地図帳の使い方等の基礎的な技能を身に付ける学習活動を設定している。また、「スキルアップ」では、統計資料の使い方などの技能を身に付ける学習活動を設定している。</p> <p>○ 中項目「日本の諸地域」では、「章のねらい」と「第○節の問い」という小単元を貫く課題を示し、見聞きごとに「節の問い」に沿った「学習課題」を設定している。また、「学習課題」のまとめとして、本文や図版を確認する「確認しよう」と、その情報をもとに「学習課題」を解決するための「説明しよう」の二段階に分けた活動を設定している。</p> <p>○ 大項目「地域の在り方」では、持続可能な社会に向けて考えたことや、地球的課題を冒頭で示し、「課題を把握しよう」、「地域をとらえよう」、「課題の要因を考察しよう」、「課題の解決に向けて構想しよう」、「構想の成果を発信しよう」の順で掲載し、調査をして、考察する学習活動を掲載している。</p> <p>○ 「節の学習を振り返ろう」を設け、導入で示された「節の問い」について、ステップ1からステップ3で考えたことを、自分の言葉でまとめる活動を設定している。また、ステップ3ではグループで活動する課題を設け、論述したり、意見交換したりする学習活動を設定している。</p>	<p>○ 資料を有効に活用するために、コーナー「スキルアップ」を設け、統計資料の使い方などの技能を身に付ける学習活動を設定している。</p> <p>○ 中項目「日本の諸地域」では、「地域的な特色を追究するためのテーマ」という小単元を貫く課題を示し、見聞きごとに「追究するテーマ」に沿った「学習課題」を設定している。また、「学習課題」のまとめとして、「確認」において自分の言葉で説明する活動を設定している。</p> <p>○ 大項目「地域の在り方」では、京都市を例に示し、「地域の課題と特色をつかもう」、「地域の課題の要因を考察しようー自然と防災班ー」、「地域の課題の要因を考察しようー交通と観光班ー」、「課題の解決に向けて構想しよう」、「まちづくり会議を開こう」の順で掲載し、調査結果を分析・考察し、地域の特色をまとめていく学習活動を掲載している。</p> <p>○ 「学習のまとめ」を設け、「ダイアモンドランキンング」、「関係図づくり」、「PMI表づくり」などのシンキングツールを利用して、導入で示された「追究するテーマ」について、考えたことを自分の言葉でまとめる活動を設け、論述したり、意見交換したりする学習活動を設定している。</p>

教科〔社会〕種目〔歴史的分野〕

令和3年度から使用する中学校用教科用図書調査・研究報告書

1 教科〔社会〕種目〔歴史的分野〕

2 本市の実態や生徒の状況

- 本市は、人類史上最初の被爆都市であり、原爆ドームなど平和の原点となる場所や、古代から現代にいたる歴史的建造物や遺構などが多数存在し、身近な地域の調査や体験活動を通して、歴史を直接感じることができている地域である。
- 本市の生徒は、身近な地域に関する歴史的事象について興味・関心が高く、文献や絵図、統計などの歴史学習に関わる資料を読み取る力は身に付いているが、歴史的事象を多面的・多角的に考察する力や、歴史に見られる課題を把握し、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力に課題がある。

3 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
＜基礎・基本の定着＞	① 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 ② 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
＜主体的に学習に取り組む工夫＞	③ 興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返り次につなげたりするための工夫 ④ 問題解決的な学習を実施するための工夫
＜内容の構成・配列・分量＞	⑤ 単元・題材や資料等の配列・分量 ⑥ 発展的な学習に関する内容の記述の状況
＜内容の表現・表記＞	⑦ 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方 ⑧ 他教科や他分野、日常生活等との関連の示し方
＜言語活動の充実＞	⑨ 様々な資料を有効に活用し、考察したり、論述したり、意見交換したりするための学習活動の工夫

令和3年度から使用する中学校用教科用図書調査・研究報告書

1 教科 [社会] 種 目 [歴史的分野]

2. 調査・研究の観点及び教科書の特徴

観点	東京書籍	教育出版	帝冠書院	山川出版社	日本文芸出版	青麟社	学び舎
① 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を養うための工夫	<p>○ 巻頭4ページで、「日本の国宝・重要文化財」の写真や、SDGsに関するテーマと写真、図を掲載している。</p> <p>○ 巻末3ページで、「各地の主な史跡」、「旧国名地図」等に関連する写真を掲載している。また、縦じ込み年表を掲載し、朝鮮・中国の欄を設け、対応している時代区分を色で分けているとともに、関連する出来事を示している。</p> <p>○ 「古事記」、「日本書紀」、「風土記」について、本文3行で説明し、さらに特設ページ「もつと歴史」で「現代に生きる神話」を掲載している。</p> <p>○ 本文中の「世界遺産」、「国宝」、「重要文化財」、「世界の記憶」、「無形文化遺産」の資料にマークを付している。</p>	<p>○ 巻頭2ページで、「私たちがつながる歴史」に関連する写真や絵を掲載している。</p> <p>○ 巻末7ページで、「江戸時代の産業と交通」、「昔の国境地図の歴史」等に関連する写真を掲載している。また、縦じ込み年表を掲載し、朝鮮・中国の欄を設け、関連する出来事を示している。</p> <p>○ 「古事記」、「日本書紀」、「風土記」について、本文5行で説明し、さらに特設ページ「歴史を探ろう」で「神話にみる古代の人々の信仰」を掲載している。</p> <p>○ 本文中の「世界遺産」、「国宝」、「重要文化財」の資料にマークを付している。</p>	<p>○ 巻頭2ページで、「日本の各地の伝承行事と祭り」に関連する写真と日本列島のイラストを掲載している。</p> <p>○ 巻末10ページで、「歴史の舞台を訪ねよう①」、「日本の世界遺産」、「歴史の舞台を訪ねよう②」に関連する写真を掲載している。また、縦じ込み年表を掲載し、朝鮮・中国の欄を設け、関連する出来事を示している。</p> <p>○ 「古事記」、「日本書紀」、「風土記」について、本文6行で説明し、さらにコラム「古事記」と「日本書紀」が伝える神話」を掲載している。</p> <p>○ 本文中の「世界遺産」、「国宝」、「世界の記憶」の資料にマークを付している。</p>	<p>○ 巻頭3ページで、「日本の世界遺産」の写真と日本列島のイラストを掲載している。</p> <p>○ 巻末2ページで、「現在の世界」として、世界地図を掲載している。</p> <p>○ 「古事記」、「日本書紀」、「風土記」について、本文7行で説明し、さらにコラム「日本の神話」を掲載している。</p> <p>○ 本文中の「世界遺産」、「国宝」の資料にマークを付している。</p>	<p>○ 巻頭2ページで、「探してみよう！ 私たちと歴史とのつながり」に関連する写真や絵を掲載している。</p> <p>○ 巻末4ページで、「世界遺産」等に関連する写真と「国対照と五穀七道」、「主なできごとと史跡・関連地」の地図を掲載している。また、縦じ込み年表を掲載し、朝鮮・中国の欄を設け、関連する出来事を示している。</p> <p>○ 「古事記」、「日本書紀」、「風土記」について、本文4行で説明し、さらに特設ページ「歴史を探ろう」で「日本の神話」を掲載している。</p> <p>○ 本文中の「世界遺産」、「国宝」の資料にマークを付している。</p>	<p>○ 巻頭6ページで、「日本人の誕生物語」と「日本の美の形」に関連する写真を掲載している。</p> <p>○ 巻末4ページで、「日本列島・歴史の宝庫」等に関連する写真を掲載している。また、縦じ込み年表を掲載し、朝鮮・中国の欄を設け、関連する出来事を示している。</p> <p>○ 「古事記」、「日本書紀」、「風土記」について、本文10行で説明し、コラム「常陸国風土記」に書かれた富士山と筑波山」を掲載している。</p> <p>○ 「古事記」、「日本書紀」、「風土記」について、本文10行で説明し、コラム「常陸国風土記」に書かれた富士山と筑波山」を掲載している。</p>	<p>○ 巻頭2ページで、「歴史地図 (世界)」を掲載している。</p> <p>○ 巻末4ページで、「歴史地図 (日本・昔の国名と国境)」を掲載している。</p> <p>○ 「古事記」、「日本書紀」、「風土記」について、本文10行で説明し、コラム「常陸国風土記」に書かれた富士山と筑波山」を掲載している。</p>
② 国際社会で主体的に生きていくための基礎となる知識・技能を身に付けさせる工夫	<p>○ 中項目「古代までの日本」、「中世の日本」において、特設ページ「地域の歴史を調べよう」を設け、「大陸の玄関口・福岡」を掲載している。また、「もつと歴史」に、「東アジア世界の国々の交流と琉球文化」を掲載している。</p> <p>○ 中項目「古代までの日本」の最後の「基礎・基本のま」と「め」で、基礎的な語句の確認に表現活動や「原典・古代の時代の特色を考えよう」という活動を設定している。</p> <p>○ 特設ページ「資料から発見」を設け、歴史学習に必要な技能を身に付けるために、学習課題を設けている。</p> <p>○ コーナー「スキルアップ」を設け、系図やグラフの読み取り方等に関する学習課題を設けている。</p>	<p>○ 中項目「古代までの日本」、「中世の日本」において、特設ページ「歴史を深めよう」を設け、「東アジアの開かれた窓口 博多」を掲載している。また、コラム「未来に向けて」に、「東アジアの美、磁器」等を掲載している。</p> <p>○ 中項目「古代までの日本」の最後の「章の学習を振り返ろう」で、基礎的な語句の確認等を行い、時代の特色を穴埋め形式で解決する活動を設定している。</p> <p>○ コラム「技能をみがく」を設け、歴史学習に必要な技能を身に付けるための学習課題を設けている。</p>	<p>○ 中項目「古代までの日本」、「中世の日本」において、特設ページ「歴史を深めよう」を設け、「東アジアの開かれた窓口 博多」を掲載している。また、コラム「未来に向けて」に、「東アジアの美、磁器」等を掲載している。</p> <p>○ 中項目「古代までの日本」の最後の「章の学習を振り返ろう」で、基礎的な語句の確認等を行い、時代の特色を穴埋め形式で解決する活動を設定している。</p> <p>○ コラム「技能をみがく」を設け、歴史学習に必要な技能を身に付けるための学習課題を設けている。</p>	<p>○ 中項目「古代までの日本」、「中世の日本」において、特設ページ「歴史を深めよう」を設け、「東アジアの開かれた窓口 博多」を掲載している。また、コラム「未来に向けて」に、「東アジアの美、磁器」等を掲載している。</p> <p>○ 中項目「古代までの日本」の最後の「章の学習を振り返ろう」で、基礎的な語句の確認等を行い、時代の特色を穴埋め形式で解決する活動を設定している。</p> <p>○ コラム「技能をみがく」を設け、歴史学習に必要な技能を身に付けるための学習課題を設けている。</p>	<p>○ 中項目「古代までの日本」、「中世の日本」において、特設ページ「歴史を深めよう」を設け、「東アジアの開かれた窓口 博多」を掲載している。また、コラム「未来に向けて」に、「東アジアの美、磁器」等を掲載している。</p> <p>○ 中項目「古代までの日本」の最後の「章の学習を振り返ろう」で、基礎的な語句の確認等を行い、時代の特色を穴埋め形式で解決する活動を設定している。</p> <p>○ コラム「技能をみがく」を設け、歴史学習に必要な技能を身に付けるための学習課題を設けている。</p>	<p>○ 中項目「古代までの日本」、「中世の日本」において、特設ページ「歴史を深めよう」を設け、「東アジアの開かれた窓口 博多」を掲載している。また、コラム「未来に向けて」に、「東アジアの美、磁器」等を掲載している。</p> <p>○ 中項目「古代までの日本」の最後の「章の学習を振り返ろう」で、基礎的な語句の確認等を行い、時代の特色を穴埋め形式で解決する活動を設定している。</p> <p>○ コラム「技能をみがく」を設け、歴史学習に必要な技能を身に付けるための学習課題を設けている。</p>	<p>○ 中項目「古代までの日本」、「中世の日本」において、特設ページ「歴史を深めよう」を設け、「東アジアの開かれた窓口 博多」を掲載している。また、コラム「未来に向けて」に、「東アジアの美、磁器」等を掲載している。</p> <p>○ 中項目「古代までの日本」の最後の「章の学習を振り返ろう」で、基礎的な語句の確認等を行い、時代の特色を穴埋め形式で解決する活動を設定している。</p> <p>○ コラム「技能をみがく」を設け、歴史学習に必要な技能を身に付けるための学習課題を設けている。</p>

発行者

観点	東京書籍	教育出版	帝国書院	山川出版社	日本文教出版	育麟社	学び舎
③ 興味・関心を高め、基礎・基本を身に覚えさせ、学習の意欲を高め、学習の楽しさを味わうための工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目の冒頭に、「導入の活動」を設け、「平城京が造られた背景にせまろう」等のグループで話し合う課題を、写真やイラスト、年表などとともに掲載している。 ○ 学習の見通しを立てられるよう、中項目の冒頭に、中項目の課題とともに、各小項目の課題を「探究のステップ」として段階的に示している。 ○ 中項目の最後に、「基礎・基本のまとめ」を設け、語句等の確認を行い、中項目の課題を「探究のステップ」とし、2～4ステップで、段階的に探究課題を解決するよう学習活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目の冒頭に、「学習を始めよう」を設け、「社会はどのように変化してきたのか、予想してみよう」等の課題を、写真やイラスト、年表などとともに掲載している。 ○ 学習の見通しを立てられるよう、対応する小項目の冒頭に、中項目の課題を示している。 ○ 中項目の最後に、「学習のまとめと表現」を設け、語句等の確認を行い、文化について説明する活動や、時代の特色を振り返る学習活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目の冒頭に、「タイムトラベル」を設け、「前の時代と比べて特色を考えよう」等の課題を、写真やイラスト、年表などとともに掲載している。 ○ 学習の見通しを立てられるよう、対応する小項目の冒頭に、中項目の課題とともに、小項目の課題を示している。 ○ 中項目の最後に、「まとめで」を設け、語句等の確認や、「まとめてみよう」、「考えてみよう」等の学習内容を振り返る学習活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目の冒頭に、「鳥の目で見よう」、「虫の目で見よう」を設け、「この絵から、どんなことが分かるかな？」等の課題を、写真やイラスト、年表などとともに掲載している。 ○ 学習の見通しを立てられるよう、中項目の冒頭に、中項目の課題を示している。 ○ 中項目の最後に、「学習のまとめ」を設け、語句等の確認を行い、ノートに記述することで、時代の特色を振り返る学習活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目の冒頭に、「地図で見る世界の動き」を設け、「地図を見比べよう」等のグループで話し合う課題を、写真、イラスト、年表などとともに掲載している。 ○ 学習の見通しを立てられるよう、中項目の冒頭に、中項目の課題を示している。 ○ 中項目の最後に、「学習のまとめ」を設け、語句等の確認を行い、「アクティビティ」で時代の特色を振り返る学習活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目の冒頭に、「鳥の目で見よう」、「虫の目で見よう」を設け、「この絵から、どんなことが分かるかな？」等の課題を、写真やイラスト、年表などとともに掲載している。 ○ 学習の見通しを立てられるよう、中項目の冒頭に、中項目の課題を示している。 ○ 中項目の最後に、「学習のまとめ」を設け、語句等の確認を行い、ノートの記述を振り返る学習活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目の冒頭に、「扉ページ」では、テーマ別にそのテーマに関連した写真を掲載している。 ○ 学習の見通しを立てられるよう、中項目の冒頭に、中項目の課題を示している。 ○ 中項目の最後に、「章をふりかえる」を設け、語句等の確認を行い、前の時代と比較しながら、時代の特色を振り返る学習活動を設定している。
④ 問題解決的な学習を実施するための工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題解決に必要な「見方・考え方」を、資料に付し、諸資料を有効に活用するための学習課題を掲載している。 ○ 問題解決に必要な知識・技能を身に付けさせるために、「スキルアップ」を設け、「集める」、「読み取る」、「まとめる」を付している。 ○ 特設ページ「地域の歴史を調べよう」を設け、身近な地域の歴史について、テーマを決めて、資料を関連付けながら、調査する学習活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題解決に必要な知識・技能を身に付けさせるために「歴史の技」を設け、歴史学習の基本的な技能を掲載している。 ○ 特設ページ「身近な歴史を調べよう」を設け、テーマについて、資料を関連付けたままに調べながら、解決していく学習活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題解決に必要な知識・技能を身に付けさせるために「資料活用」を付している。また、コラム「技能がみがかく」では基礎的な技能を掲載している。 ○ 特設ページ「歴史を探ろう」を設け、疑問について、資料を関連付けながら、解決していく学習活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題解決に必要な知識・技能を身に付けさせるために、写真やグラフ、コラムなどに関連した課題を掲載している。 ○ 問題解決に必要な知識・技能を身に付けさせるために、「プローチ」を設け、テーマについて、資料を関連付けながら、解決していく学習活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題解決に必要な知識・技能を身に付けさせるために「スキルアップ」を設け、系図の見方などを掲載している。 ○ 特設ページ「歴史を掘り下げる」を設け、テーマについて、資料を関連付けながら、解決していく学習活動を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題解決に必要な知識・技能を身に付けさせるために、「史料の読み方」等の学習内容に関連した情報を掲載している。 ○ 特設ページ「歴史のターニングポイント」を設け、テーマについて、資料を関連付けながら、解決していく学習活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題解決に必要な知識・技能を身に付けさせるために、「歴史を体験する」を設け、「話しあいましょう」、「発表しましよう」等の発問により、課題を解決していく活動を設定している。

発行者

親点	東京書籍	教育出版	帝国書院	山川出版社	日本文教出版	育麟社	学び舎	
⑤ 単元・題材や資料等の配列・分量	○ 各時代区分のページ数 総ページ数 304 ページ 歴史との対話 12 ページ 古代 44 ページ 中世 36 ページ 近世 50 ページ 近代 102 ページ 現代 32 ページ その他 28 ページ ○ 巻末の「人名さくいん」 351名の人物を掲載している。 ○ サイズ AB判 重さ 約 606g	○ 各時代区分のページ数 総ページ数 310 ページ 歴史との対話 15 ページ 古代 42 ページ 中世 36 ページ 近世 50 ページ 近代 108 ページ 現代 36 ページ その他 23 ページ ○ 巻末の「人名さくいん」 に 388名の人物を掲載している。 ○ サイズ AB判 重さ 約 632g	○ 各時代区分のページ数 総ページ数 306 ページ 歴史との対話 13 ページ 古代 44 ページ 中世 36 ページ 近世 54 ページ 近代 108 ページ 現代 30 ページ その他 21 ページ ○ 巻末の「人名さくいん」 に 317名の人物を掲載している。 ○ サイズ AB判 重さ 約 624g	○ 各時代区分のページ数 総ページ数 294 ページ 歴史との対話 9 ページ 古代 48 ページ 中世 40 ページ 近世 52 ページ 近代 100 ページ 現代 30 ページ その他 15 ページ ○ 巻末の「人名」に 375名 の人物を掲載している。 ○ サイズ AB判 重さ 約 608g	○ 各時代区分のページ数 総ページ数 328 ページ 歴史との対話 8 ページ 古代 50 ページ 中世 42 ページ 近世 52 ページ 近代 102 ページ 現代 38 ページ その他 36 ページ ○ 巻末の「人名」に 279名 の人物を掲載している。 ○ サイズ AB判 重さ 約 666g	○ 各時代区分のページ数 総ページ数 314 ページ 歴史との対話 13 ページ 古代 50 ページ 中世 34 ページ 近世 52 ページ 近代 102 ページ 現代 33 ページ その他 30 ページ ○ 巻末の「人名さくいん」 に 437名の人物を掲載している。 ○ サイズ AB判 重さ 約 634g	○ 各時代区分のページ数 総ページ数 306 ページ 歴史との対話 6 ページ 古代 44 ページ 中世 32 ページ 近世 50 ページ 近代 110 ページ 現代 36 ページ その他 28 ページ ○ 巻末の「索引」に 287名 の人物を掲載している。 ○ サイズ A4判 重さ 約 716g	
⑥ 発展的な学習に関する内容の記述の状況	○ 特設ページ「もつと歴史」 を設け、本文ページの学習 内容を深めたり、異なる視 点でとらえたりする課題を 掲載している。また、「資料 から発見！」を設け、各時 代の特徴的な資料を基に、 読み取ったり考えたりする ことで、その時代について 理解を深めるための発展的 な課題を掲載している。 ○ 特設ページ「地域の歴史 を調べよう」の最後に、「ブ ラス」として、発展的な学 習課題を掲載している。 ○ コラム「歴史にアクセス」 では、関連する発展的な内 容を掲載し、SGOsに関連し ているものには、関連マー クを付している。	○ 特設ページ「歴史を探ろ う」を設け、具体的な事例・ テーマをもとに、歴史学習 を深める課題を掲載してい る。また、「身近な地域の歴 史を調べよう」を設け、ペ ージの最後に、「問い」とし て発展的な学習課題を掲載 している。	○ 特設ページ「歴史を探ろ う」を設け、学習したことに よって、具体例を通じてさら に深める課題を掲載してい る。また、「技能をみがく」 を設け、歴史の見方・考え 方を働かせる上で、必要な 基礎的な技能を習得するた めの発展的な学習課題を掲 載している。	○ コラム「地域史」では、 中央とは違う地域の姿か ら、日本の社会や文化への 理解を深める発展的なテ ーマを掲載している。	○ コラム「歴史の窓」では、 学習から興味や関心を広げ ていく発展的なテーマを掲 載している。	○ 特設ページ「歴史を探ろ う」を設け、現代の課題につ いて、歴史を踏まえて考える 発展的な課題を掲載してい る。また、「スキルアップ」 を設け、「仏像の見方」等の 発展的な学習課題を掲載し ている。	○ 特設ページ「歴史ズーム イン」を設け、歴史の学習 を幅広く豊かにするために ふさわしい発展的なテ ーマを掲載している。また、「こ のころ世界は」を設け、各 時代の日本の歴史と関わり の深い外国の動きを掲載し ている。	○ 特設ページ「歴史への案 内」を設け、地域の博物館 を利用して調べる発展的な テーマを掲載している。
親点3 内容の構成・配列・分量	○ コラム「先人に学ぶ」や 「地域に学ぶ」では、先人 の活動や、身近な地域から 歴史を学ぶことのできる事 例を掲載している。	○ コラム「先人に学ぶ」や 「地域に学ぶ」では、先人 の活動や、身近な地域から 歴史を学ぶことのできる事 例を掲載している。	○ コラム「先人に学ぶ」や 「地域に学ぶ」では、先人 の活動や、身近な地域から 歴史を学ぶことのできる事 例を掲載している。	○ コラム「先人に学ぶ」や 「地域に学ぶ」では、先人 の活動や、身近な地域から 歴史を学ぶことのできる事 例を掲載している。	○ コラム「先人に学ぶ」や 「地域に学ぶ」では、先人 の活動や、身近な地域から 歴史を学ぶことのできる事 例を掲載している。	○ コラム「歴史ビュー」で は、本文の内容に関連する 発展的なテーマを掲載して いる。	○ コラム「フォーカス」で は、本文の内容に関連する 発展的なテーマを掲載して いる。	

発行者					
東京書籍	教育出版	帝国書院	山川出版社	日本文教出版	育隣社
<p>○ 中項目(1)古代までの日本、(2)中世の日本において、イラスト・写真188点を掲載している。</p> <p>○ 原爆投下について、本文で説明し、「廃墟になつた広島」「長崎に落とされた原子爆弾」の写真を掲載している。</p> <p>○ 特設ページ「地域の歴史を調べよう」を設け、「広島を復興と平和への思い」を取り上げ、広島市を取り上げ、広島を復興した背景を追究するために、広島平和記念資料館での調査を基に、平和都市としての広島の問題を考え、将来の広島の問題について話し合う課題解決的な学習活動を設定している。</p> <p>○ 35件のウェブコンテンツにアクセスできるようQRコードを掲載している。また、対応する箇所には「Dマーク」を付している。</p> <p>○ 「教科関連マーク」を付し、他教科の学習との関連を示している。</p> <p>○ 「分野関連マーク」を付し、他分野との関連を示している。</p> <p>○ 「小学校の社会で習ったことば」を、大項目の導入の年表中に示し、小学校で学習した語句を掲載し、振り返りの部分で関連付けている。</p> <p>○ 特設ページ「もつと歴史」を設け、身近な地域で起きた自然災害や、その後の取り組み等の日常生活に関連する学習課題を設定している。</p>	<p>主として、古代・中世を取り上げて記載(同時代は日本が国家を形成し、発展させていく上で、特に東アジアとの深い関わりが見られた時代であるため)</p> <p>○ 中項目(1)古代までの日本、(2)中世の日本において、イラスト・写真187点を掲載している。</p> <p>○ 原爆投下について、本文で説明し、「被爆後の広島の街」「長崎に落とされた原子爆弾」の写真を掲載している。</p>	<p>主として、原爆被害、復興、平和発信に関することなどを取り上げて記載</p> <p>○ 中項目(1)古代までの日本、(2)中世の日本において、イラスト・写真236点を掲載している。</p> <p>○ 原爆投下について、本文で説明し、「原子爆弾による廃墟になつた広島」「長崎に落とされた原子爆弾」の写真を掲載している。</p>	<p>○ 中項目(1)古代までの日本、(2)中世の日本において、イラスト・写真198点を掲載している。</p> <p>○ 原爆投下について、本文で説明し、「広島と長崎への原子爆弾の投下」「広島爆心地」「原爆投下後の長崎」の写真を掲載している。</p> <p>○ 特設ページ「地域からのアプローチ」を設け、「広島をアプローチ」を取り上げ、原爆の被害や復興等についての学習課題を8つ掲載している。</p>	<p>○ 中項目(1)古代までの日本、(2)中世の日本において、イラスト・写真137点を掲載している。</p> <p>○ 原爆投下について、本文で説明し、「原子爆弾投下2か月後の広島」「長崎に落とされた原爆のきのこ雲」の写真を掲載している。</p> <p>○ 14件のウェブコンテンツにアクセスできるようQRコードを掲載している。また、対応する箇所にはデジタルマークを付している。</p>	<p>○ 中項目(1)古代までの日本、(2)中世の日本において、イラスト・写真125点を掲載している。</p> <p>○ 原爆投下について、本文で説明し、「原爆ドーム」「原爆で破壊された浦上天主堂」の写真を掲載している。</p>
<p>○ 他教科や他分野の日常生活等との関連の示し方</p>	<p>○ 「関連」マークを付し、他分野との関連を示している。</p> <p>○ 小学校の教科書で登場した人物には「小学校」マークを付している。</p> <p>○ 特設ページ「歴史を深める」を設け、人々が共生するための工夫や努力について、点字をテラマにしたり、日常生活に関連する学習課題を設定している。</p>	<p>○ 「小学校・地理・公民との関連」マークを付し、他分野との関連を示している。</p> <p>○ 小学校で学習した内容と地理・公民との関連を付している。また、導入部分に小学校での既習事項を掲載している。</p> <p>○ 特設ページ「多面的・多角的に構想する」を設け、「どのよ様な社会を目標していくか」等の日常生活に関連する学習課題を設定している。</p>	<p>○ 特設ページ「地域からのアプローチ」では、日常生活と関連するその地域の名産品や史跡を掲載している。</p>	<p>○ 「地理」「公民」「地図帳」マークを付し、他分野との関連を示している。</p> <p>○ 小学校で学習した内容との関連を示す「小学校」マークを付している。</p> <p>○ 特設ページ「歴史と対話」を未来に活かす」を設け、「防災・減災に関するそなえを過去から学び活きる」等の、日常生活に関連する学習課題を設定している。</p>	<p>○ 特設ページ「歴史ズームイン」を設け、「自分の住む地域の地震や災害について史料が残されていまいいか、調べてみましょう」等の日常生活に関連する学習課題を設定している。</p> <p>○ 特設ページ「歴史を体験する」を設け、「火おこしに挑戦する」「地域の歴史を歩く」等の日常生活に関連する学習課題を設定している。</p>
<p>⑦ 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方</p>	<p>⑧ 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方</p>	<p>⑨ 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方</p>	<p>⑩ 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方</p>	<p>⑪ 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方</p>	<p>⑫ 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方</p>

観点	⑤ 様々な資料を有効に活用し、学習活動	東京書籍	教育出版	帝国書院	山川出版社	日本文教出版	育麟社	学び舎
観点5 言語活動の充実	<p>○ 資料を有効に活用するための基礎的・基本的な技能を身に付けるために、「スキムルアップ」を掲載している。</p> <p>○ 各中項目の最後に、「まとめの活動」を設け、Xチャートやマトリックスの思考ツールを用いながら、時代の特徴を考察する学習活動を設定している。</p> <p>○ 見開きページに、「トライ」を設け、「次の語句を使って説明しよう」、「20字程度で説明しよう」等、論述する学習活動を設定している。</p> <p>○ 「みんなでチャレンジ」を随所に設け、「グループで話し合おう」、「クラスで発表し、意見を交換しよう」等、意見交換をする学習活動を設定している。</p> <p>○ 各中項目の最後に、「まとめの活動」を設け、その中で、「みんなでチャレンジ」を付し、時代の特徴をまとめるために、意見交換をする学習活動を設定している。</p>	<p>○ 資料を有効に活用するための基礎的・基本的な技能を身に付けるために、「歴史の技」を掲載している。</p> <p>○ 各中項目の最後に、「学習のまとめと表現」を設け、時代の変化に注目して、学習した時代の特徴を考察する学習活動を設定している。</p> <p>○ 見開きページに、「表現！」を設け、「～について説明しよう」、「話し合おう」等、論述する学習活動を設定している。</p> <p>○ 各中項目の最後に、「草の学習を振り返ろう」を設け、自分の考えを整理しながら、時代の特徴を考察する学習活動を設定している。</p> <p>○ 見開きページに、「説明しよう」を設け、「特徴から説明してみよう」、「理由を説明してみよう」等、論述する学習活動を設定している。</p> <p>○ 特設ページ「多面的・多角的に考えてみよう」を設け、「意見を発表し合おう」、「グループで話し合おう」等、意見交換をする学習活動を設定している。</p> <p>○ 各中項目の最後に、「草の学習を振り返ろう」を設け、ステップ2で、「話し合いを通して自分の考えを深めよう」等、意見交換をする学習活動を掲載している。</p>	<p>○ 各中項目の最後に、「まとめ」を設け、表にまとめたリ、説明したりするなどの、考察する学習活動を設定している。</p> <p>○ 見開きページに、「ステップアップ」を設け、「考えてみよう」、「調べてみよう」等、論述する学習活動を設定している。</p> <p>○ 特設ページ「歴史を考えよう」を設け、取り上げた課題を話し合いながら、考察するなどの、意見交換をする学習活動を設定している。</p>	<p>○ 資料を有効に活用するための基礎的・基本的な技能を身に付けるために、「スキルアップ」を掲載している。</p> <p>○ 各中項目の最後に、「学習の整理と活用」を設け、「アクトビティ」では、「○」に着目して「時代の特徴を考察する学習活動を設定している。</p> <p>○ 見開きページに、「確認」を設け、「理由を説明しよう」、「影響について説明しよう」等、論述する学習活動を設定している。</p> <p>○ 特設ページ「チャレンジ歴史」を設け、「あなたの考えを説明してみよう」等、意見交換をする学習活動を設定している。</p>	<p>○ 各中項目の最後に、「学習のまとめ」を設け、まとめの作業を手がかりにしながから、時代の特徴を考察する学習活動を設定している。</p> <p>○ 見開きページに、えんぴつマークを付し、「説明しよう」、「まとめよう」等、論述する学習活動を設定している。</p> <p>○ 特設ページ「歴史のターニングポイント」を設け、「それぞれの立場から意見を話し合おう、クラスで話し合ってみよう」等、意見交換をする学習活動を設定している。</p>	<p>○ 各中項目の最後に、「草のまとめ」を設け、「前の時代と比べたりしながら」等、発問により、時代の特徴を考察する学習活動を設定している。</p> <p>○ 特設ページ「歴史を体験する」を設け、「話し合いましょう」、「対話・討論する」等、意見交換をする学習活動を設定している。</p> <p>○ 各中項目の最後に、「学習のまとめ」を設け、「グループやクラスで話し合おう」、「発表を聞いてみよう」、「発表を聞いて」等、意見交換をする学習活動を設定している。</p>		

教科〔社会〕種目〔公民的分野〕

令和3年度から使用する中学校用教科用図書調査・研究報告書

1 教科〔社会〕種目〔公民的分野〕

2 本市の実態や生徒の状況

- 本市は、国や地方自治体の政治機関、全国規模の企業の支社・支店が集中し、中国地方の中心都市として、政治、商工業の中心的機能を果たしている。また、第一次産業から第三次産業まで様々な産業が見られ、現代生活全般を概観できる地域である。
- 本市の生徒は、現代の社会的対象に対する興味・関心は高く、現代社会に見られる課題を把握し、資料を読み取り情報を収集する力は身に付いているが、課題解決に向けて、習得した知識を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察・構想したことを説明したり、論拠を基に自分の意見を説明、論述したりする力に課題がある。

3 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
＜基礎・基本の定着＞	① 公民として現代社会の見方・考え方の基礎を培うための工夫 ② 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
＜主体的に学習に取り組む工夫＞	③ 興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫 ④ 問題解決的な学習を実施するための工夫
＜内容の構成・配列・分量＞	⑤ 単元・題材や資料等の配列・分量 ⑥ 発展的な学習に関する内容の記述の状況
＜内容の表現・表記＞	⑦ 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方 ⑧ 他教科や他分野、日常生活等との関連の示し方
＜言語活動の充実＞	⑨ 様々な資料を有効に活用し、考察したり、論述したり、意見交換したりするための学習活動の工夫

令和3年度から使用する中学校用教科用図書調査・研究報告書

1 教科〔社会〕種目〔公民的分野〕
2 調査・研究の観点及び教科書の特徴

観点	発行者				
	東京書籍	教育出版	帝国書院	日本教出版	自由社
① 公民として現代社会の良方・考え方の基礎を培うための主要	<p>○ 中項目「現代社会を捉える枠組み」で、対立と合意、効率と公正について、本文7ページにわたって説明し、部活動の今後の体育館の使い方を例に、2年前、1年前、現在のそれぞれの状況における解決策を考える学習課題を掲載している。</p> <p>○ 各中項目の最後に、「まどめの活動」を設け、中項目「現代社会を捉える枠組み」では、自転車を使い方、解決策を考えるようにしている。</p> <p>○ 中項目「現代社会を捉える枠組み」の最後に、「まどめの活動」を設け、「みんなでチャレンジ」の中で、「効率」、「公正」の観点から考える学習課題を掲載している。</p> <p>○ 公民的な見方・考え方を活用して考察するための学習課題を随所に掲載している。</p>	<p>○ 中項目「現代社会を捉える枠組み」で、対立と合意、効率と公正について、本文5ページにわたって説明し、合唱コンクールの練習場所のトラブル、ごみ収集所の設置場所を例に、解決策を考える学習課題を掲載している。</p> <p>○ 特設ページ「アクティブ公民」を設け、ロールプレイングを取り入れながら、解決策を考えるようにしている。</p> <p>○ 中項目「現代社会を捉える枠組み」の最後に、「草の学習を振り返ろう」を設け、「対立」、「合意」、「効率」、「公正」を例として、考える学習課題を掲載している。</p>	<p>○ 中項目「現代社会を捉える枠組み」で、対立と合意、効率と公正について、本文5ページにわたって説明し、防災備蓄倉庫の新設を例に、状況を把握し、設置場所と備除規則の解決策を考える学習課題を掲載している。</p> <p>○ 特設ページ「アクティブ公民」を設け、ロールプレイングを取り入れながら、解決策を考えるようにしている。</p>	<p>○ 中項目「現代社会を捉える枠組み」で、対立と合意、効率と公正について、本文6ページにわたって説明し、合唱コンクールの練習スケジュールを例に、解決策を考えるようにしている。</p>	<p>○ 中項目「現代社会を捉える枠組み」で、対立と合意、効率と公正について、本文4ページにわたって説明し、昼休みのグラウンドの使い方方を例に、解決策を考えるようにしている。</p> <p>○ 特設ページ「アクティブ」に深めよう」を設け、よりよいまちづくりの具体的方策について考えるようにしている。</p> <p>○ 中項目「現代社会を捉える枠組み」の最後に、「学習のまとめと発展」を設け、「公正と効率」の観点から考える学習課題を掲載している。</p>
② 国際社会で主体的に生きていくための基礎となる知識・技能を身に付けさせる工夫	<p>○ 領域をめぐる問題については、「領土をめぐる問題の現状」において、「竹島問題の経緯と取り組み」、「北方領土問題の経緯と取り組み」、「尖閣諸島への対応」について本文2ページにわたって掲載している。</p> <p>○ 拉致問題については、本文で説明し、帰国した拉致被害者の写真と解説を掲載している。</p>	<p>○ 領域をめぐる問題については、「領土をめぐる問題」において、本文2ページ、特設ページ「日本の外交の今とこれから」の2ページにわたって掲載している。</p> <p>○ 領域をめぐる問題については、「領土をめぐる問題」において、本文2ページ、特設ページ「わが国の領土問題」の2ページにわたって掲載している。</p> <p>○ 拉致問題については、本文で説明し、帰国した拉致被害者の写真と解説を掲載している。</p>	<p>○ 国旗・国歌について、本文7行で説明し、「リョウゲイネイロオリンピック開会式」の写真を掲載している。また、特設ページ「国旗と国家を考えてみよう」を設け、日章旗や君が代の意味等について、2ページにわたって掲載している。</p> <p>○ 領域をめぐる問題については、「国家と国際関係」において、本文2ページ、特設ページ「わが国の領土問題」の2ページにわたって掲載している。</p> <p>○ 領域をめぐる問題については、「領土をめぐる問題」において、本文2ページ、特設ページ「わが国の領土問題」の2ページにわたって掲載している。</p> <p>○ 拉致問題については、本文で説明し、帰国した拉致被害者の写真と解説を掲載している。</p>	<p>○ 国旗・国歌について、本文12行で説明し、「国旗・国歌法」、「国際社会で通用する国旗・国歌への敬意の表し方」及び「オリンピック表彰式での国旗掲揚の様子」の写真を掲載している。また、「学習を深めよう」に、「国歌『君が代』の意味」を掲載している。</p> <p>○ 領域をめぐる問題については、「領土・領海をめぐる問題」において、本文2ページ、特設ページ「日本の領土をめぐる問題」の2ページにわたって掲載している。</p> <p>○ 拉致問題については、本文で説明し、また、コラム「学習を深めよう」を設け、2ページにわたって掲載している。</p>	<p>○ 国旗・国歌について、本文12行で説明し、「国旗・国歌法」、「国際社会で通用する国旗・国歌への敬意の表し方」及び「オリンピック表彰式での国旗掲揚の様子」の写真を掲載している。また、「学習を深めよう」に、「国歌『君が代』の意味」を掲載している。</p> <p>○ 領域をめぐる問題については、「領土・領海をめぐる問題」において、本文2ページ、特設ページ「日本の領土をめぐる問題」の2ページにわたって掲載している。</p> <p>○ 領域をめぐる問題については、「領土・領海をめぐる問題」において、本文2ページ、特設ページ「わが国の領土問題」の2ページにわたって掲載している。</p> <p>○ 拉致問題については、本文で説明し、また、コラム「学習を深めよう」を設け、2ページにわたって掲載している。</p>

観点	東京書籍	教育出版	帝国書院	日本文教出版	自由社	育麟社
③ 興味・関心をもち、最適した学び、学習を振り返って次に活かすための工夫	<p>○ 各大大項目の冒頭に、関連する写真やイラストと、小学校の社会で習ったことばを掲載している。また、導入の活動として、関連する学習課題を掲載している。</p> <p>○ 大項目の学習課題と、中項目の学習課題を、「学習の見通し」で文庫中に示している。また、小項目ごとに「学習課題」を掲載している。</p> <p>○ 各大大項目の最後に、「探究のステップの問い」を解決しよう」を設け、シンキングツールを利用し、各中項目を振り返る学習活動を設定している。</p> <p>○ 各大大項目の最後に、「基礎・基本のまとめ」を設け、言語活動を取り入れて語句の確認を行い、「まとめの活動」では、「導入の活動」で示された課題と関連している新たな学習課題について、これまでで学習してきた内容を、さまざまな見方・考え方を生かして取り組む学習活動を設定している。</p>	<p>○ 各大大項目の冒頭に、「学習の前後」を設け、イラストに関連する学習課題を掲載している。また、「小学校との関連」マークを付し、小学校で学習した内容を掲載している。</p> <p>○ 大項目の学習課題を文庫中に示し、中項目の学習課題を、「節の問い」として示している。また、小項目ごとに「学習課題」を掲載している。</p> <p>○ 各大大項目の最後に、「章の学習を振り返ろう」を設け、語句の確認などを進め、問いの問いを3ステップで段階的に大項目の学習課題を解決する学習活動を設定している。また、「章の学習を振り返ろう」の最後に、「次への準備」を掲載している。</p>	<p>○ 各大大項目の冒頭に、「学習のほしめ」を設け、漫画を掲載し、関連する学習課題を掲載している。</p> <p>○ 大項目の学習課題を文庫中に示している。また、小項目ごとに「学習課題」を掲載している。</p> <p>○ 各大大項目の最後に、「学習のまとめと活用」を設け、「学習内容と語句の整理」で、語句の確認などを行い、シンキングツールを用いた学習活動を設定している。また、「学習の整理と活用」の最後に、「第〇編に向けてのヒント」を掲載している。</p>	<p>○ 各大大項目の冒頭に、関連する写真やイラスト、小学校で学習した関連する語句を掲載している。また、導入の活動として、関連する学習課題を掲載している。</p> <p>○ 大項目の学習課題を文庫中に示している。また、小項目ごとに「学習課題」を掲載している。</p> <p>○ 各大大項目の最後に、「〇〇のこれから」を設け、章で学んだこととまとめの課題を設定している。また、「学習のまとめ」を設け、語句の確認などを行う学習活動を設定している。</p>	<p>○ 各大大項目の冒頭に、大項目で学習するテーマを文章で記載し、イラストを掲載している。</p> <p>○ 大項目の学習課題を文庫で示している。また、小項目ごとに「学習課題」を掲載している。</p> <p>○ 各大大項目の最後に、「学習のまとめ」で、語句の確認などを行い、「学習の発展」では、複数ある課題の中から1つ選び、約400字でまとめる学習活動を設定している。</p>	<p>○ 各大大項目の冒頭に、関連する写真やイラスト、小学校で学習した関連する語句を掲載している。また、導入の活動として、関連する学習課題を掲載している。</p> <p>○ 大項目の学習課題を文庫中に示している。また、小項目ごとに「学習課題」を掲載している。</p> <p>○ 各大大項目の最後に、「〇〇のこれから」を設け、章で学んだこととまとめの課題を設定している。また、「学習のまとめ」を設け、語句の確認などを行う学習活動を設定している。</p>
④ 問題解決的な学習を体験するための工夫	<p>○ 小項目に「どのように」、「どのような」、「なぜ」という課題を示している。</p> <p>○ 主に資料に「見方・考え方」を付し、重視する観点を示し、関連する学習課題を掲載している。</p> <p>○ 中項目「よりよい社会を目指して」において、問題解決的な学習を実施するために、複数のテーマの中から解決すべき課題を設定し、資料を集め、探究し、レポートにまとめる構成にしている。</p> <p>○ テーマ例として、「環境・資源」、「平和・人権」、「経済」、「健康・文化」、「防災・安全」、「情報・技術」を示している。</p>	<p>○ 小項目に「どのように」、「どのような」、「なぜ」という課題を示している。</p> <p>○ 主に学習課題に「見方・考え方」を付している。</p> <p>○ 中項目「よりよい社会を目指して」において、問題解決的な学習を実施するために、テーマを選び、私の提案としてのレポートにまとめる構成にしている。</p> <p>○ テーマ例として、「環境・資源」、「平和・人権」、「経済」、「健康・文化」、「防災・安全」、「情報・技術」を示している。</p>	<p>○ 小項目に「どのように」、「どのような」、「なぜ」という課題を示している。</p> <p>○ 主に小項目の学習課題に「見方・考え方」を付している。</p> <p>○ 中項目「よりよい社会を目指して」において、問題解決的な学習を実施するために、テーマを設定し、資料を収集し、考察や構想し、レポートにまとめる構成にしている。</p> <p>○ テーマ例として「伝統・文化」、「政治・経済」、「人権・平和」、「環境・科学・技術」を示している。</p>	<p>○ 小項目に「どのように」、「どのような」、「なぜ」という課題を示している。</p> <p>○ 主に小項目の学習課題に「見方・考え方」を付している。</p> <p>○ 中項目「よりよい社会を目指して」において、問題解決的な学習を実施するために、テーマを設定し、資料を収集し、考察や構想し、レポートにまとめる構成にしている。</p> <p>○ テーマ例として「伝統・文化」、「政治・経済」、「人権・平和」、「環境・科学・技術」を示している。</p>	<p>○ 小項目に「どのように」、「どのような」、「なぜ」という課題を示している。</p> <p>○ 中項目「よりよい社会を目指して」において、問題解決的な学習を実施するために、テーマを設定し、資料を収集し、考察や構想し、レポートにまとめる構成にしている。</p> <p>○ テーマ例として「伝統・文化」、「政治・経済」、「人権・平和」、「環境・科学・技術」を示している。</p>	<p>○ 小項目に「どのように」、「どのような」、「なぜ」という課題を示している。</p> <p>○ 中項目「よりよい社会を目指して」において、問題解決的な学習を実施するために、テーマを設定し、資料を収集し、考察や構想し、レポートにまとめる構成にしている。</p> <p>○ テーマ例として「伝統・文化」、「政治・経済」、「人権・平和」、「環境・科学・技術」を示している。</p>

発行 者					
東京書籍	教育出版				
帝国書院	日本文芸出版				
自由社	青蘭社				
<p>⑤ 単元 題材や資料等の配列・分量</p> <p>○ 巻末資料では、37 ページにわたり、「現代社会の歩み」、「世界の現状」、「参考法令集」、「用語解説」、「さくいん」を掲載している。</p> <p>○ 表見返し4ページにわたり、「持続可能な社会の実現に向けて」、「公民学習の初めに」を掲載している。</p> <p>○ 裏見返し3ページにわたり、「日本の無形文化遺産」、「持続可能な社会の実現に向けて」を掲載している。</p> <p>○ 広島に関する資料として「広島市の平和記念式典」、「広島市の平和記念公園で演説するアメリカのオバマ大統領」、「バス会社を訪ねたときの様子」、「80 年後の福島の未来図」、「神田本陣でのボランティアガイドの様子」、「再生する空き家」、「花田順」の写真(計9点)を掲載している。</p> <p>○ 「みんながチャレンジ」を設け、広島県福山市神田町の中学生の取り組みを紹介し、関連する写真を4点掲載している。</p> <p>○ サイズA8判 重さ 約514g</p> <p>○ 特設ページ「もって公民」を設け、本文ページの学習内容を深めるために、発展的な課題を9テーマ掲載している。</p> <p>○ コラム「公民にアクセス」では、本文の学習内容をくわしく説明したり、関連する内容を取り上げたりしているコーナーを掲載している。</p> <p>○ 特設ページ「18 歳へのステップ」を設け、選挙権年齢や成年年齢の引き下げに関連する事項を掲載している。</p>	<p>○ 巻末資料では、29 ページにわたり、「日本国憲法」、「諸法令集」、「用語解説」、「さくいん」を掲載している。</p> <p>○ 表見返し6ページにわたり、「現代を生きる私たち」、「公民の学習を始めるにあたって」を掲載している。</p> <p>○ 裏見返し2ページにわたり、「持続可能な未来を 目ざす人々」を掲載している。</p> <p>○ 広島に関する資料として「瀬戸の港」、「予定されていた埋め立てと架橋計画」、「地域の将来について話し合う 吉和地域の住民」、「スピーチを行うオバマ大統領」、「原子爆弾が投下された後の広島市内」、「爆弾して黒くこげた三輪車」の写真(計6点)を掲載している。</p> <p>○ サイズA8判 重さ 約594g</p> <p>○ 特設ページ「読んで深く考えよう」を設け、資料を読み深めていくために、発展的な課題を6テーマ掲載している。</p> <p>○ コラム「公民の窓」、「クリップ」では、学習をさらに深めていくテーマを掲載している。</p>	<p>○ 巻末資料では、23 ページにわたり、「資料」、「さくいん」を掲載している。</p> <p>○ 表見返し2ページにわたり、「よりよい社会を目指して」を掲載している。</p> <p>○ 裏見返し3ページにわたり、「第二次世界大戦後の歩み」、「防災・被災を通じた社会参画 (兵庫県神戸市) 〜阪神・淡路大震災の経験を生かす〜」を掲載している。</p> <p>○ 広島に関する資料として「原爆投下直後の原爆ドーム」、「広島平和記念式典」の写真(計2点)を掲載している。</p> <p>○ サイズA8判 重さ 約496g</p> <p>○ 特設ページ「アクティブ公民」を設け、学習した内容を深めるために、発展的な課題を10テーマ掲載している。</p> <p>○ コラム「公民プラス」では、学習内容に関連する実社会の動きを掲載している。また、「解説」では、本文中に記載された解題の分かりにくい用語の解説を該当ページに掲載している。</p>	<p>○ 巻末資料では、96 ページにわたり、「法令集」、「現代の世界の様子」、「日本の現代史年表」、「用語解説」、「類似用語集」、「さくいん」を掲載している。</p> <p>○ 表見返し4ページにわたり、「これからの社会をどんな社会にしたい?」、「地理・歴史とのつながり」、「公民を学ぶにあたって」を掲載している。</p> <p>○ 裏見返し3ページにわたり、「高校の公民科『公民』とのつながり」、「日本の人口を 100 人に縮めてみると」を掲載している。</p> <p>○ 広島に関する資料として「龍野集」、「広島平和記念式典」、「被爆直後の原爆ドーム」、「被災地の視察」、「離島地域の医療」、「福山市 ばらのまち条例」、「自動車工場の分業」、「外国人労働者」、「被爆者と抱擁するアメリカの大統領」、「平和首長会議」の写真(計10点)を掲載している。</p> <p>○ サイズA8判 重さ 約524g</p> <p>○ 特設ページ「チャレンジ公民」を設け、社会の課題について、考察・構想し深めるために、発展的な課題を4テーマ掲載している。</p> <p>○ コラム「公民+α」では、学習内容に関する事項を掘り下げて、学習内容の理解を深めていくことができるテーマを掲載している。</p>	<p>○ 巻末資料では、84 ページにわたり、「法令集」、「現代社会の歩み」、「さくいん」を掲載している。</p> <p>○ 表見返し3ページにわたり、「すごい日本の技術は」を掲載している。</p> <p>○ 裏見返し2ページにわたり、「職人の技が生み出した日本の伝統的工芸品」を掲載している。</p> <p>○ 広島に関する資料として「広島市の原爆被害」、「2016 年5月27日、アメリカのオバマ大統領」、「熊野集」の写真(計3点)を掲載している。</p> <p>○ サイズA8判 重さ 約560g</p> <p>○ 特設ページ「もって知りたい」を設け、重要な事項を深く理解するために、発展的な課題を21テーマ掲載している。</p> <p>○ コラム「ミニ知識」では、公民の重要な言葉や事柄を学習するときにヒントになるテーマを掲載している。</p>	<p>○ 巻末資料では、98 ページにわたり、「日本の伝統文化」、「戦後の日本と世界の主な出来事」、「法令集」、「用語解説」、「さくいん」を掲載している。</p> <p>○ 表見返し5ページにわたり、「持続可能な開発目標 (SDGs)」、「なぜ『公民』を学ぶのか」、「公民について」を掲載している。</p> <p>○ 裏見返し2ページにわたり、「持続可能な社会をめざして」を掲載している。</p> <p>○ 広島に関する資料として「原爆投下直後の原爆ドーム」、「広島市の平和記念公園で演説するアメリカのオバマ大統領」、「五穀豊穡や無病息災、先祖の冥福を祈る『練浦の法楽おどり』」、「瀬戸内海に浮かぶカキいかだ」の写真(計4点)と「広島県と愛媛県上島諸島をつなぐ送水管」の地図 (計1点) を掲載している。</p> <p>○ サイズA8判 重さ 約512g</p> <p>○ 特設ページ「〜のこれから」を設け、その場で学習した内容を生かして取り組むために、発展的な課題を4テーマ掲載している。</p> <p>○ コラム「学習を深めよう」では、本文で学習したことに関連する情報を紹介するなど、学習を深めるテーマを掲載している。</p>
<p>⑥ 発展的な学習に関する内容の記述の状況</p>	<p>○ サイズA8判 重さ 約594g</p> <p>○ 特設ページ「読んで深く考えよう」を設け、資料を読み深めていくために、発展的な課題を6テーマ掲載している。</p> <p>○ コラム「公民の窓」、「クリップ」では、学習をさらに深めていくテーマを掲載している。</p>	<p>○ サイズA8判 重さ 約496g</p> <p>○ 特設ページ「アクティブ公民」を設け、学習した内容を深めるために、発展的な課題を10テーマ掲載している。</p> <p>○ コラム「公民プラス」では、学習内容に関連する実社会の動きを掲載している。また、「解説」では、本文中に記載された解題の分かりにくい用語の解説を該当ページに掲載している。</p>	<p>○ サイズA8判 重さ 約524g</p> <p>○ 特設ページ「チャレンジ公民」を設け、社会の課題について、考察・構想し深めるために、発展的な課題を4テーマ掲載している。</p> <p>○ コラム「公民+α」では、学習内容に関する事項を掘り下げて、学習内容の理解を深めていくことができるテーマを掲載している。</p>	<p>○ サイズA8判 重さ 約560g</p> <p>○ 特設ページ「もって知りたい」を設け、重要な事項を深く理解するために、発展的な課題を21テーマ掲載している。</p> <p>○ コラム「ミニ知識」では、公民の重要な言葉や事柄を学習するときにヒントになるテーマを掲載している。</p>	<p>○ サイズA8判 重さ 約512g</p> <p>○ 特設ページ「〜のこれから」を設け、その場で学習した内容を生かして取り組むために、発展的な課題を4テーマ掲載している。</p> <p>○ コラム「学習を深めよう」では、本文で学習したことに関連する情報を紹介するなど、学習を深めるテーマを掲載している。</p>

発行者				
東京書籍	教育出版			
帝国書院	日本教出版			
自由社	育麟社			
<p>○ 大項目「私たちが政治」における資料の種類と掲載数 絵図 56点 写真 122点 地図 3点 表・グラフ 53点 新聞 12点 年表 2点 文書資料 12点 合計 269点</p> <p>○ 持続可能な開発目標(SDGs)に 関連する資料を、表見返し2ペー ジ、大項目「私たちが政治」の 諸課題、表見返し2ページを中心 に取り上げている。また、参考法 令集の中に「持続可能な開発のた めの2030アジェンダ」を取り上げ ている。さらに、関連する資料や コラム等には、SDGsに関連する 項目を示したマークを付してい る。</p> <p>○ 38件のウェブコンテンツにアク セスできるように、QRコードを掲 載している。また、対応する箇所 には「Dマーク」を付している。</p>	<p>○ 大項目「私たちが政治」におけ る資料の種類と掲載数 絵図 54点 写真 116点 地図 5点 表・グラフ 64点 新聞 5点 年表 3点 文書資料 8点 合計 255点</p> <p>○ 持続可能な開発目標(SDGs)に 関連する資料を、特設ページ「公 民の学習を始めるにあたって」、大 項目「私たちが政治」の諸課 題、表見返し2ページを中心を取 り上げている。また、各大項目の 最後、「関連する主なSDGsの項 目」を示し、本文ページには「関 連するSDGs」のマークを付してい る。</p> <p>○ 23件のウェブコンテンツにアク セスできるように、QRコードを掲 載している。また、対応する箇所 には「まなびリンク」を付してい る。</p>	<p>○ 大項目「私たちが政治」におけ る資料の種類と掲載数 絵図 62点 写真 106点 地図 3点 表・グラフ 66点 新聞 10点 年表 1点 文書資料 14点 合計 262点</p> <p>○ 持続可能な開発目標(SDGs)に 関連する資料を、表見返し2ペー ジ、大項目「私たちが政治」の 諸課題を中心に取り上げている。</p> <p>○ 15件のウェブコンテンツにアク セスできるように、QRコードを掲 載している。また、対応する箇所 には「デジタルマーク」を付して いる。</p>	<p>○ 大項目「私たちが政治」におけ る資料の種類と掲載数 絵図 22点 写真 77点 地図 1点 表・グラフ 16点 新聞 4点 年表 0点 文書資料 2点 合計 122点</p> <p>○ 持続可能な開発目標(SDGs)に 関連する資料を、大項目「私たち と国際社会の諸課題」を中心を取 り上げている。</p>	<p>○ 大項目「私たちが政治」におけ る資料の種類と掲載数 絵図 43点 写真 105点 地図 3点 表・グラフ 36点 新聞 17点 年表 1点 文書資料 37点 合計 242点</p> <p>○ 持続可能な開発目標(SDGs)に 関連する資料を、表見返し2ペー ジ、大項目「私たちが政治」の 諸課題、特設ページ「国際社会の これから」、表見返し2ページの中 心に取り上げている。</p>
<p>○ 「教科関連マーク」を付し、他 教科の学習との関連を示してい る。</p> <p>○ 「分野関連マーク」を付し、社 会科の他分野との関連を示してい る。</p> <p>○ 「小学校の社会で習ったことば」 を設け、小学校で学習した語句を 掲載し、小学校の学習との関連を 示している。</p> <p>○ 私たちが日常生活の中でしてい る、消費活動を挙げよう、「私 たちが日常生活の中で使ってい る、支払いの方法を挙げよう」等 の学習課題を設定し、日常生活 との関連を示している。</p>	<p>○ 「関連」マークを付し、小学校 で学習した事項を掲載し、小学校 の学習との関連を示している。</p> <p>○ 「身のまわりのメディアを实际 に検証してみよう」、「クラスでの 昼食の時間のあり方について改善 できることがないかどうか」等 の学習課題を設定し、日常生活 との関連を示している。</p>	<p>○ 「小学校・地理・歴史との関連」 マークを付し、社会科の他分野と の関連を示している。</p> <p>○ 「小学校・地理・歴史との関連」 マークを付し、小学校で学習した 語句を掲載し、小学校の学習との 関連を示している。</p> <p>○ 「あなたの住むまちで、最近で きたルールがあるか調べてみよ う」、「あなたの住むまちで、障が いのある人や高齢者にとって不便 だと思うところを挙げてみよう」 等の学習課題を設定し、日常生活 との関連を示している。</p>	<p>○ 「連携コーナー」で社会科の他 分野との関連を示している。</p> <p>○ 大項目の冒頭に「小学校」マー クを付し、小学校で学習した事項 を掲載し、小学校の学習との関連 を示している。</p> <p>○ 「まなびリンク」を設 け、「あなたの住むまちで、最近で きたルールがあるか調べてみよ う」、「ネット社会とつき合う方法」 等の学習課題を設定し、日常生活 との関連を示している。</p>	<p>○ 他分野との関連を示す内容に、 「地理」マーク、「歴史」マークを 付している。</p> <p>○ 大項目の冒頭で、小学校で学習 した関連内容を掲載している。</p> <p>○ 「自立した消費者になるには」、 「あなたの住む地域の議会ではど のような条例が制定されている か」等の学習課題を設定し、日常 生活との関連を示している。</p>
<p>○ 教科や他分野、日常生活等との関連の示し方</p>	<p>○ 教科や他分野、日常生活等との関連の示し方</p>			

発行者

規点	規点	東京書籍	教育出版	帝国書院	日本教出版	自由社	育誠社	
規点	規点5 学習活動の充実	<p>○ コラム「スキルアップ」を設け、公民の学習を進めるうえでの基礎的・基本的な技能を身に付ける学習課題を掲載している。</p> <p>○ 小項目の「トライ」で、学習内容について、「～を考えよう」や「～を説明しよう」等の指示により、考察したり、論述したりする学習活動を設定している。</p> <p>○ 「導入の活動」と「まとめの活動」に「みんなでチャレンジ」を設け、グループで協力し、意見交換する学習活動を設定している。</p> <p>○ 「みんなでチャレンジ」を随所に設け、政治参加や模擬裁判等の意見交換する学習課題を掲載している。</p>	<p>○ コラム「公民の技」で個人やグループでの活動を通して、公民の学習で身に付けたい技能や表現力を身に付ける学習課題を掲載している。</p> <p>○ 小項目の「表現」で、学習内容について、「自分の考えを説明しよう」や「意見を交換し合ってみよう」等の指示により、考察したり、論述したりする学習活動を設定している。</p> <p>○ 特設ページ「言葉で伝え合おう」を設け、表現活動を中心とした、テーマ学習を行うことができるような学習活動を設定している。</p>	<p>○ 特設ページ「技能をみがく」で、ディベートやKJ法などの分析を深めるための方法を身に付ける学習課題を掲載している。</p> <p>○ 小項目の「説明しよう」で、学習内容について、「～を説明してみよう」の前に、多様な疑問により、考察したり、論述したりする学習活動を設定している。</p> <p>○ 「章の学習を振り返ろう」では、「見方・考え方を働かせて考えよう」のステップ2で、意見交換する学習活動を設定している。</p>	<p>○ 特設ページ「情報スキルアップ」を設け、情報の読み取りや、活用する時に必要な知識・技能を身に付ける学習課題を掲載している。</p> <p>○ 小項目の「確認」で、学習内容について、「～を考えてみましょう」や「～を説明してみましょう」等の指示により、考察したり、論述したりする学習活動を設定している。</p> <p>○ コラム「アクティビティ」で、主体的・対話的な問いを設け、意見交換したりする学習活動を設定している。</p>	<p>○ 小項目の「やってみよう」で、学習内容について、「～について調べてみよう」や「話し合ってみよう」等の指示により、考察したり、論述したりする学習活動を設定している。</p> <p>○ 特設ページ「アクティブに深めよう」を設け、意見を出し合う等の、意見交換したりする学習活動を設定している。</p>	<p>○ 小項目の学習のまとめとして、「～について説明しよう」や「話し合ってみよう」等の指示により、考察したり、論述したりする学習活動を設定している。</p> <p>○ コラム「やってみよう」を設け、「裁判員になって判決を考えよう」等の、意見交換する学習活動を設定している。</p>	
視点	⑨ 様々な資料を有効に活用し、考察したり、論述したり、意見交換したりするための学習活動の工夫							

教科〔社会〕種目〔地図〕

令和3年度から使用する中学校用教科用図書調査・研究報告書

1 教科 [社会] 種 目 [地図]

2 本市の実態や生徒の状況

- 本市は、山や川、豊かな自然環境に恵まれるとともに、太田川のデルタ地形に位置し、自然災害等の発生しやすい地域である。また、古代遺跡等の歴史的資源も豊富であり、第一次産業から第三次産業まで様々な産業が見られるため、地理的・歴史的分野における地域調査や体験活動を行うのにも適している。
- 本市の生徒は、地図に対する興味・関心が高く、読図や作図などの技能は身に付いているが、社会的事象を形成している背景や理由について、地図や諸資料を有効に活用して事象を説明したり、自分の解釈を加えて論述したり、意見交換したりする力に課題がある。

3 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
＜基礎・基本の定着＞	<ul style="list-style-type: none"> ① 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 ② 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
＜主体的に学習に取り組む工夫＞	<ul style="list-style-type: none"> ③ 興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫 ④ 学び方・調べ方の題材やその手順の示し方
＜内容の構成・配列・分量＞	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 単元・題材や資料等の配列・分量
＜内容の表現・表記＞	<ul style="list-style-type: none"> ⑥ 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方 ⑦ 他教科や他分野、日常生活等との関連の示し方
＜言語活動の充実＞	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 様々な資料を有効に活用し、考察したり、論述したり、意見交換したりするための学習活動の工夫

令和3年度から使用する中学校用教科用図書の調査・研究報告書

1 教科 [社会] 種 目 [地図]
 2 調査・研究の観点及び教科書の特徴

観点	視点	発行者	帝国書院
<p>① 我が国の国土と歴史に対する理解と愛着を育てるための工夫</p>	<p>東京書籍</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページで「日本列島」の地図を、次の見開き2ページで「南西諸島と各群島・列島等」の地図を順に掲載している。 (縮尺：日本列島・南西諸島 550 万分の1、沖縄島 50 万分の1、各群島・列島等 100 万分の1) ○ 「日本の周辺」の地図で、日本の東西南北の最端を地図と写真で示し、竹島と尖閣諸島も地図と写真で示している。また、竹島の地図を「中国・四国地方」、北方領土を含む千島列島の地図を「北海道地方」のページで拡大して掲載している。 ○ 「日本と朝鮮半島との歴史的なつながり」について、朝鮮半島・日本で発掘された遺物を比較する写真を掲載している。 ○ 「九州地方」で、「歴史の舞台・九州地方」として、九州地方が古代から近代にかけて歴史の舞台となったことを示す地図・写真等の資料を掲載している。 ○ 「近畿地方」で、近畿地方のテーマ資料として「江戸時代の大坂」の地図や京都・奈良・神戸の「主な文化財と観光地」の地図を掲載している。 ○ 「東北地方」で、東北地方のテーマ資料として「東日本大震災による被害」について、写真と浸水域を示した地図を掲載している。 ○ 「日本と世界との関係（古代～近世）」について、歴史的な視点からの地図・古図・絵画・写真等の資料を掲載している。 ○ 「日本の自然環境（災害・環境問題）」の2ページで、ハザードマップ例と自然災害の状況を示す写真を掲載している。 ○ 「日本」の各地方地図に、等高線彩図を用いている。 ○ 巻末に「旧国名 1868 (明治元) 年」の地図を掲載している。 	<p>帝国書院</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 折込見開き3ページで「南西諸島と各群島・列島等」の地図を、次の3ページで「日本列島」の地図を順に掲載している。 (縮尺：日本列島・南西諸島 400 万分の1、沖縄島、各群島・列島等 100 万分の1) また、そのうち1ページで、「南西諸島を中心とした日本列島周辺図」、「沖縄島の土地利用図」、「那覇市中心部地図」を掲載している。 ○ 「日本の領土とその周りの国々」の地図で、日本の東西南北の最端を地図と写真で示している。また、尖閣諸島・竹島・国後島の写真を「日本列島」の折込地図に掲載している。また、竹島の地図を「中国・四国地方」、北方領土を含む千島列島の地図を「北海道地方」のページで拡大して掲載している。 ○ 「北海道地方」のページでは、「北方領土」の問題にかかわる日本とロシア・ソ連の国境の変遷を示す地図を掲載している。 ○ 東アジアと日本の交流の歴史の歴史のページを設け、大陸から見た日本の地図を示し、交流の様子を写真とイラストで掲載している。 ○ 「九州地方」で、「火山災害への備え—島原半島—」の鳥瞰図を「防災」に係る資料として掲載している。 ○ 「近畿地方」で、「江戸時代の大坂」の地図や京都・奈良・大阪の文化財や観光地の地図・写真を掲載している。さらに明日香村周辺の写真と姫嶋の文化財等を示した地図を掲載している。 ○ 「東北地方」で、東北地方の資料として「震災の被害と復興」について、震災前・震災直後・復興中の様子を掲載している。 ○ 「大阪湾周辺の地形～地形と歴史・防災」、「東京都周辺の地形～水と人との関わり・防災～」、「本州中部と五街道」、「江戸」等、歴史的な視点から地図・年表・グラフ等の資料を掲載している。 ○ 「日本の自然災害・防災」の2ページで、ハザードマップ例と自然災害に対する備えの様式図を掲載している。 ○ 「日本」の各地方地図に、等高線彩図に加えて主な尾根線を描いている。 ○ 巻末に「旧国名 1868 (明治元) 年」の地図を掲載している。 	<p>帝国書院</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「世界の現代的な諸課題として「環境・資源・エネルギー」「人口・貧困問題」「紛争・難民問題」について、6ページにわたって関連する地図・写真・イラストを掲載している。また、「世界の生活文化」について、4ページにわたって関連する地図・写真・イラストを掲載している。 ○ 「世界の資源・エネルギー」「世界の工業と貿易」「世界の農林水産業」「世界と日本の交通・通信網」など、世界の産業と日本との関わりに関する資料を、テーマごとに見開き2ページ、計8ページにわたって掲載している。 ○ 「世界と日本の結びつき」について、関連する地図とグラフを見開き2ページで掲載している。 ○ 「ピクアップ TOKYO」のページで、東京オリンピックを取り上げ、首都機能を示した地図・写真を掲載している。また、「日本の生活と文化」の1ページで、ご当地キャラクターや伝統料理を写真やイラストで掲載している。
<p>② 国際社会で主体的に生きていくための基礎となる知識・技能を身に付けさせる工夫</p>	<p>帝国書院</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「世界の環境問題」について、「世界のおもな環境問題」と「持続可能な社会への取り組み」を2ページにわたって掲載し、また関連する地図・写真・イラストを掲載している。さらに、「世界の生活文化」について、4ページにわたって関連する地図・写真・イラストを掲載している。 ○ 「世界と日本の人口」「世界と日本の鉱産資源」「世界と日本の交通・通信」など、世界と日本の資料を、テーマごとに見開き2ページ、計6ページにわたって掲載している。 ○ 世界の各州のページで「日本との結びつき」について、関連する地図・グラフ・写真・イラストを掲載している。 ○ 「観光・スポーツ」、「日本の歴史遺産」のページを設け、観光客の推移やオリンピック、世界文化遺産について地図・グラフ・写真・古図等を掲載している。また、「日本の生活・文化」の2ページでは、各地の祭り・行事や伝統料理を写真やイラストで掲載している。 	<p>帝国書院</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「世界の環境問題」について、「世界のおもな環境問題」と「持続可能な社会への取り組み」を2ページにわたって掲載し、また関連する地図・写真・イラストを掲載している。さらに、「世界の生活文化」について、4ページにわたって関連する地図・写真・イラストを掲載している。 ○ 「世界と日本の人口」「世界と日本の鉱産資源」「世界と日本の交通・通信」など、世界と日本の資料を、テーマごとに見開き2ページ、計6ページにわたって掲載している。 ○ 世界の各州のページで「日本との結びつき」について、関連する地図・グラフ・写真・イラストを掲載している。 ○ 「観光・スポーツ」、「日本の歴史遺産」のページを設け、観光客の推移やオリンピック、世界文化遺産について地図・グラフ・写真・古図等を掲載している。また、「日本の生活・文化」の2ページでは、各地の祭り・行事や伝統料理を写真やイラストで掲載している。 	

発行 者	
	東京書籍 帝国書院
視 点	<p>③ 興味・関心をもたせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫</p>
視 点	<p>④ 学び方・調べ方の題材やその手順の示し方</p>
観 点	<p>観点 2 主体的に学習に取り組む工夫</p>
	<p>○ アジア州、ヨーロッパ州、北アメリカ州、北アフリカ州で、海洋を含む鳥瞰図を掲載している。</p> <p>○ 日本の各地方の基本資料として、各地方の地図と一部拡大地図に続いて、「基礎資料」として生活・産業などのイラストを配した鳥瞰図（自然環境）と2点間の断面図、土地利用・降水量を示した地図を掲載している。さらに「テーマ資料」として、各地方の特徴となるテーマを設定した資料を掲載している。</p> <p>○ 世界の各州で、その州に位置する国の国旗を掲載している。</p> <p>○ 「世界の資源・エネルギー」で「夜の地球」の画像を掲載している。</p> <p>○ 巻末に「都道府県の産品と各所・お国自慢など」を都道府県章とともに掲載している。</p> <p>○ 「この地図帳の地図記号」、「この地図帳の活用方法」で、3ページにわたり地図記号や地図、資料の見方を説明している。</p> <p>○ 資料の読み取りのポイントや見方・考え方（考察の視点）を示すためにキャラクターを設定し、吹き出しにより課題を提示している。</p> <p>○ 別ページにある、関連する資料に、「ジャンプ」というマークを付している。</p> <p>○ 世界と日本を分けた「世界の地名」、「日本の地名」と「資料さくいん」を設けている。また、「資料さくいん」には「歴史」の項目を設けている。</p>
	<p>○ 世界の各州で、生活・産業・著名な建築物などのイラストを配した鳥瞰図を掲載している。</p> <p>○ 「日本」の各地方で、各地方の地図と一部拡大地図に続いて、「資料」として自然についての地図と2点間の断面図、降水量・人口分布・農業・工業、交通を同じ形式で掲載している。また、地方ごとの特色を示す地図と防災にかかわる地図資料を掲載している。</p> <p>○ 世界の各州の地図に、同縮尺・同緯度・同経度の日本を示している。</p> <p>○ 世界の各州で、その州に位置する国の国旗を掲載している。</p> <p>○ 「世界と日本の遺産資源」で「宇宙から見た夜の日本列島付近」の画像を掲載している。</p> <p>○ 「日本の生活・文化」のページに、各地方の特色のある祭りや、日本の伝統的な料理を掲載している。</p> <p>○ 「この地図帳の凡例」、「地図帳の使い方(1)(2)」、「国土地理院の地形図」で、5ページにわたり地図記号や地図、資料の見方、地形図の主な記号について説明している。</p> <p>○ 地図活用の技能を身に付けるための「地図活用」のコーナーを設定し、課題を提示している。さらに、さまざまな所に、資料図を見るときに着眼点を示した「学習課題」のコーナーを設定している。</p> <p>○ 別ページにある、関連する資料のページ数を、マークで示している。</p> <p>○ 世界と日本を分けた「さくいん」を設け、さくいんの引き方について説明するコーナーを設けている。</p>

発行 者	
帝国書院	
観 点	東京書籍
観 点 3 内容の構成・配列・分量	<p>○ 世界の様々な地域に関連する地図や資料を71ページにわたり掲載している。</p> <p>○ 日本の様々な地域に関連する地図や資料を88ページにわたり掲載している。</p> <p>○ 巻末で、9ページにわたり「自然の統計」「世界の統計」「日本の統計」を掲載している。</p> <p>○ サイズ A4判 重さ 約518g</p>
観 点 4 内容の表現・表記	<p>○ 九州地方について、「九州地方の自然環境」、「九州地方の土地利用」、「九州地方の降水量」、「台風や土砂災害の被害を受けやすい地域」、「九州地方の火山と温泉・地熱発電所」、「原子爆弾投下時の長崎」、「水俣病の市町村ごとの認定患者数」、「環境都市を目指す北九州市」の資料を掲載している。</p> <p>○ Dマークを付したページでは、インターネットを使った学習ができるようにしている。国土地理院のデジタル地図「地理院地図」へのリンクや一般図の白地図がダウンロードできるようにしている。</p>
観 点 5 単元・題材や資料等の配列・分量	<p>○ 九州地方について、「九州地方の自然環境」、「九州地方の降水量」、「人口分布」、「農業」、「工業・交通」、「阿蘇・くじゅうの産布と畜産」、「火山災害への備え—島原半島—」の資料を掲載している。</p> <p>○ QRコードを付したページでは、コードを読み取ると学習を深める資料やクイズなどのコンテンツを見ることができるようになっている。</p>
観 点 7 他教科や他分野、日常生活等との関連の仕方	<p>○ 歴・心^①のマークが付いている資料は、歴史や公民の学習に役立つ資料となっている。</p> <p>○ 「日本の自然環境（災害・環境問題）」で、さまざまな自然災害やそれに対する備えなど、身近な災害について掲載している。また、「東北地方のテーマ資料」の「東日本大震災による被害」で、東北地方の被害や津波の浸水域について扱っている。</p> <p>○ 「防災」「環境」「日本との結びつき」のマークが付いている資料は、それぞれに関連がある資料となっている。</p> <p>○ 「日本の自然災害・防災」で、さまざまな自然災害やそれに対する備えなど、身近な災害について掲載している。また、「大阪湾周辺の地形—地形—歴史・防災—」で、その地域で起こりやすい自然災害とその対策、地形と人との関わりについて扱っている。</p>

発行 者	
	帝国書院
観点	東京書籍
観点	<p>○ 「キャラクターの吹き出し」により、学習内容を深める活動を掲載している。</p> <p>○ 「日本の人口」のページでは、「人口が増えている所にはどんな特徴があるのかな。」「この見開きページにある資料をあわせて読み取って、日本の人口が今後どうなっていくかを考えましょう。」を「キャラクターの吹き出し」で示している。</p> <p>○ 「現代的な諸課題④人口・貧困問題」のページで、「キャラクターの吹き出し」として「カロリー摂取量の少ない地域はどの辺りに広がっているのかな。」を示している。</p>
観点	<p>○ 「学習課題」と「地図活用」のマークがある箇所の問いにより、学習内容を深める活動を掲載し、「地図活用」のコーナーでは、基礎的な知識・技能を確認する問いや、「クラスで発表しよう」、「説明しよう」等の言語活動を含む学習課題を掲載している。</p> <p>○ 「世界と日本の人口」のページで、「世界の人口増加率の図で人口増加が著しいアフリカの国々の人口構成の特徴を、おもな国の人口ピラミッド・世界の老年人口の割合の図から考え説明しよう。」「日本の人口増加率の図で人口が増加している都道府県は、老年人口の割合にどのような特徴がみられるか、老年人口の割合の図を参考にしよう。」を「地図活用」として示している。</p> <p>○ 「世界と日本の人口」のページでは、「学習課題」として「世界と日本の人口分布にはどのような特徴があり、今後どのように推移していくだろうか。」を示している。</p>
観点	④ 様々な資料を有効に活用し、考察したり、論述したり、意見交換したりするための学習活動の工夫
観点	観点5 言語活動の充実